

福島の復興のあゆみ

【地域別】

- 南相馬市
- 川俣町
- 飯舘村
- 広野町
- 楢葉町
- 田村市
- 葛尾村
- 川内村
- 浪江町
- 双葉町
- 大熊町
- 富岡町
- いわき市
- 新地町
- 相馬市
- 中通り・会津地域
- 広域

○ 南相馬市

	年月日	概要
平成 25 年	3 月～	<u>防災集団移転先造成開始（21 地区）</u>
	4 月 1 日	<u>小高区役所が全面再開</u>
	4 月～	<u>小高郵便局が再開</u> ※旧警戒区域内で初の郵便局再開
	8 月 10 日～ 18 日	<u>原町区で特例宿泊実施</u> ※33 世帯、104 名が宿泊
	6 月 23 日	<u>休止している小高区の医療機関のうち、市立小高病院（小高区）の一部機能を、来年 4 月に再開させる旨公表</u>
	6 月 7 日	<u>公共インフラ復旧の行程表策定</u>
	7 月～	<u>鹿島区、原町区で災害公営住宅着工</u> ※11 地区中、4 地区で着工
	7 月 26 日～ 28 日	<u>相馬野馬追</u> ※3 日間で計 16 万 6,500 人（前年比 +6,800 人）、震災前の 2010 年（21 万 4,900 人）の約 8 割の水準 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（相馬野馬追）</u>
	8 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	9 月 12 日	<u>防災集団移転事業造成完了</u> ※南海老地区、雫地区が市内で初めて完了
平成 26 年	12 月 24 日～ 26 年 1 月 7 日	<u>特例宿泊実施</u> ※従来実施していた原町区に加え、小高区も対象とした。
	1 月	<u>南相馬復興アグリ再生準備株式会社を対象とした利子補給に係る復興推進計画及び応急仮設建築物の存続期間の延長に係る復興推進計画の認定</u>
	3 月	<u>東北電力原町太陽光発電所の建設工事開始</u> ※平成 26 年 8 月に太陽電池モジュールの設置を始め、平成 27 年 1 月の営業運転開始を目指す。
	3 月 22 日	<u>三尾製作所の福島工場が操業を全面再開</u> ※避難指示解除準備区域にある油圧シリンダー製造事業者が、国と県の補助を受け、工場の修復や新規設備の導入を行い本格再開
	3 月 23 日	<u>鹿島区西川原地区の災害公営住宅完成</u> ※市で初めての災害公営住宅。木造平屋と 2 階建の計 28 戸

年月日		概要
平成 26 年	3月25日	<u>県道原町川俣線の八木沢峠でトンネル工事着手</u> ※県の「ふくしま復興再生道路」の一つに位置付けられている原町川俣線の整備事業が着手（平成30年代の早い時期に開通予定）
	3月30日	<u>「わんぱくキッズ広場」オープン</u> ※こども元気復活交付金を活用し広場を整備
	4月13日	<u>夜の森公園での桜まつり復活</u> ※市原町区の夜の森公園で、事故後初めて桜まつり再開
	4月23日	<u>市立小高病院の一部再開</u> ※避難指示解除準備区域にある小高病院で一部外来診療を再開した。旧警戒区域内の医療機関が元の場所で再開するのは初めて。
	4月26日～ 5月11日	<u>特例宿泊の実施</u>
	5月15日	<u>小高ワーカーズベースを設立</u> ※地元の役に立ちたいと決意する若者らが集まり、地域の復興を支援する拠点施設を設立
	5月22日	<u>福島県環境創造センター起工式</u> ※原子力発電所周辺のモニタリングや安全監視を行い、また、放射線計測技術など本県の環境回復・創造に向けた調査研究を行う施設
	5月27日	<u>原町東地区農地整備の安全祈願祭</u> ※復興交付金の農山漁村地域復興基盤総合整備事業
	6月6日	<u>八沢地区農地整備の安全祈願祭</u> ※復興交付金の農山漁村地域復興基盤総合整備事業
	7月19日～ 8月17日	<u>夏期の特例宿泊の実施</u>
	8月3日	<u>サービスエリア利活用拠点施設の起工式</u> ※常磐自動車道の南相馬鹿島サービスエリア（SA）に隣接して市が整備し、地域の伝統文化の発信や物産品の販売等のスペースを備える施設
	9月13日～ 9月28日	<u>特例宿泊の実施</u> ※秋の彼岸の時期に新たに実施
	9月15日	<u>国道6号、県道36号通行自由化</u> ※浪江、富岡において入域制限があった国道6号、県道36号の車両通行自由化

年月日		概要
平成 26 年	9月30日	<u>かしま交流センター開所</u> ※復興交付金を活用
	10月1日	<u>鹿島区西町地区の災害公営住宅竣工</u> ※RC3 階建 30 戸
	12月6日	<u>常磐自動車道（浪江 IC－南相馬 IC 間、相馬 IC－山元 IC 間）開通</u>
	12月9日	<u>地域復興マッチング「結いの場」を開催</u> ※大手企業等 27 社の有する豊富な経営資源を活用し、被災企業 8 社（南相馬市の金属加工業等）の経営力・競争力強化を支援 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（「結の場」開催）</u>
	12月20日～ 1月18日	<u>年末年始の特例宿泊の実施</u>
	12月24日	<u>県原子力災害対策センター（福島オフサイトセンター）起工式</u>
	12月28日	<u>特定避難勧奨地点解除</u>
平成 27 年	1月31日	<u>JR 常磐線、原ノ町～竜田駅間、代行バス運行開始</u>
	2月	<u>(株)菊池製作所南相馬工場（小高区）「マッスルスーツ」量産ライン稼働開始</u>
	2月19日	<u>鹿島区屋内運動施設整備着工（H28 年 3 月完成予定）</u> ※こども元気復活交付金
	2月21日	<u>常磐自動車道 南相馬鹿島スマート I C 供用開始</u>
	3月14日～ 3月29日	<u>特例宿泊の実施</u> ※春の彼岸の時期に新たに実施
	3月24日	<u>市消防・防災センター落成</u>
	3月26日	<u>原町区大町西地区、大町東地区の災害公営住宅竣工</u> ※大町西：RC5 階建 40 戸 ※大町東：RC5 階建 60 戸 木造平屋建（長屋）20 戸
	3月26日	<u>南相馬市仮設焼却施設（減容化施設）の火入れ式</u> ※4 月から本格稼働
	3月	<u>津波がれきを仮置場へ搬入完了</u>
	4月1日	<u>相馬～南相馬～東京（池袋）高速バス運行開始</u>
	4月4日	<u>市立あずま保育園入園式</u>

年月日		概要
平成 27 年		※原町区の公立保育園で震災後初の開園
	4月6日	常磐線小高～原ノ町駅間復旧工事着手
	4月16日	小高商工会新会館落成※6月1日より業務再開
	4月25日	セデッテかしまオープン ※常磐自動車道南相馬鹿島サービスエリアに隣接した市のサービスエリア利活用拠点施設
	4月25日～ 5月10日	特例宿泊の実施
	5月15日	福島県浜地域農業再生研究センター一起工式 ※農地の放射性物質動態調査、吸収抑制対策、除染後の地力回復対策などの調査・研究を行う施設
	6月30日	北原地区防災集団移転事業造成完了 ※市内全ての防集団地整備が完了
	7月1日	市立小高病院の診療日が週3日から週4日に
	7月18日～ 8月31日	夏期の特例宿泊
	7月20日	みちのく鹿島球場（津波被災）の復旧完了（再オープン記念イースタンリーグ楽天 vs ロッテ戦開催）
	8月7日	藻類バイオマス生産開発拠点の主要施設完成
	8月12日	「福島浜通りロボット実証区域」第1号に下太田工業用地が決まり、マルチコプターの運用試験を実施
	8月31日	準備宿泊開始 11月30日まで
	8月	出荷・摂取制限解除に向け22a（2a×11箇所）で野菜の実証栽培を実施 ※ほうれん草、キャベツ、カブ、ブロッコリー、小松菜
	9月28日	小高区「東町エンガワ商店」のオープン
	10月1日	住民交流スペース「おだかぶらっとほーむ」がオープン
	10月1日	小高区役所で新聞の販売開始

年月日		概要
平成 27 年	10 月 12 日	<u>復活祭サーフチャレンジ in 北泉開催</u> ※ <u>震災後初となる全国規模のサーフィン大会</u>
	11 月 2 日	<u>「絆診療所」(鹿島区) が仮設から新築移転</u>
	11 月 16 日	<u>福島県環境創造センター「環境放射線センター」開所</u>
	11 月 27 日	<u>パークゴルフ場建設工事着工</u>
	11 月 30 日	<u>準備宿泊延長 2 月 29 日まで</u>
	11 月 24 日	<u>第 69 回全国植樹祭式典会場が南相馬市に決定</u> ※ <u>平成 30 年春、県内開催は 48 年ぶり。</u>
平成 28 年	1 月 1 日	<u>居住制限区域で郵便配達を再開</u>
	1 月 4 日	<u>「双葉屋旅館」(小高区) で一時帰宅者の宿泊受け入れ開始</u>
	1 月 20 日	<u>南相馬トマト菜園開所</u> ※ <u>1.5ha の大型ハウスで 660t/年を生産予定</u>
	1 月 31 日	<u>南相馬市制 10 周年 (記念式典開催)</u>
	2 月 21 日	<u>港行政区 (鹿島区) 閉区式</u>
	2 月 26 日	<u>小高区の大蓄電池システム (4 万 kw/h) が営業運転開始</u> <u>(東北電力)</u>
	2 月 27 日	<u>大型園芸施設 (鹿島区南海老地区) 起工式</u>
	2 月 29 日	<u>準備宿泊延長 (避難指示解除まで)</u>
	3 月 5 日	<u>安倍総理 JR 小高駅視察</u>
	3 月 11 日	<u>「おだかのひるごはん」閉店</u> ※ <u>5 月より同所で「双葉食堂」が営業再開予定</u>

年月日		概要
平成 28 年	3月18日	<u>小高区東町災害公営住宅竣工</u> ※ <u>木造平屋：14戸、木造2階：6戸</u> ※ <u>原町区（大町南、栄町、萱浜）、小高区（万ヶ迫、上町）</u> <u>も3月中に完成（南相馬市の災害公営住宅全戸完成）</u>
	3月21日	<u>真野川漁港施設竣工</u>
	3月25日	<u>福島県浜地域農業再生研究センター竣工</u>
	3月27日	<u>南相馬市鎮魂復興市民植樹祭</u>
今後の予定		<u>もんま整形外科、半谷医院再開（4月）</u> <u>小高保険福祉センター、あすなろデｲｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ再開（4月）</u> <u>さくらい保育園再開（原町区、4月）</u> <u>「かしまわんぱく広場」（ﾄｰﾑ型屋内遊び場）完成（4月）</u> <u>原町区大町地区に地域商業施設を整備（4月中開店）</u> <u>JR常磐線 小高駅ー原町駅間の運行（28年春）</u> <u>小高商業高校、小高工業高校の統合及び小高区での再開</u> <u>（29年4月予定）</u>

○ 川俣町

年月日		概要
平成 25 年	2月1日	<u>株式会社日ピス福島製造所を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>
	4月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	6月24日～ 7月7日	<u>区域見直しの住民説明会開催</u>
	7月8日	<u>復興計画（第2次）策定</u> ※住民が安心して暮らせるまち、生き甲斐を感じるまち、幸せを感じるまちへの復興を目指す
	8月8日	<u>区域見直し実施</u> ※国が事故後に設定した11市町村の避難指示区域の再編が完了
	8月10日～ 18日	<u>山木屋地区で、はじめての特例宿泊実施</u> ※33世帯、104名が宿泊。
	9月24日	<u>一時帰宅用デマンドタクシーの運行</u>
	10月	<u>山木屋出張所改修工事着工</u>
	11月29日	<u>ネズミ駆除の応急措置を実施</u> ※特例宿泊にそなえ、応急処置として早急に家屋内外のネズミ駆除を行うため、粘着シートを配付
	12月1日	<u>ヤマト運輸が山木屋地区の配送再開</u>
平成 26 年	12月24日～ 26年1月7日	<u>特例宿泊実施</u> ※12世帯、32名が宿泊。特例期間中、山木屋郵便局のATMが稼働
	3月24日	<u>山木屋地区に複合施設を整備する計画案をとりまとめ</u> ※過疎型スマートコミュニティ委員会は、復興拠点として山木屋地区に行政、診療所、防災、住民交流機能を備えた複合施設や、2.3MW規模のメガソーラー施設を整備する計画素案をまとめた。
	3月	<u>農地除染と基盤整備の一体施工工事着工</u>
	3月	<u>山木屋出張所の改修工事完了</u> ※山木屋地区地域安全パトロール隊の基地として活用
	3月	<u>川俣町中心市街地活性化基本計画の策定</u>

年月日		概要
平成 26 年	4 月～	<u>山木屋地区実証・試験栽培</u> ※水稲、WCS、小菊、リンドウ、そば、大豆、野菜
	4 月～	<u>山木屋地区一時帰宅用デマンドタクシー運行</u> ※平成 25 年度に引き続き、自家用車などの交通手段をもたない方が一時的に自宅に戻ることができるよう、復興局支援事業を活用し、仮設住宅から山木屋地区までのタクシーを運行
	4 月 25 日	<u>再生受託組合設立</u>
	4 月 26 日～ 5 月 11 日	<u>特例宿泊の実施</u> ※12 世帯、30 名宿泊
	5 月 12 日	<u>ベルグ福島(株)と企業立地協定書調印（野菜の接木苗生産日本一のシェアを誇り、自社技術を活かし主要産地に人工光育苗施設・太陽光利用型ハウスを用いた野菜苗の販売等を行う。）（産業団地造成等は福島再生加速化交付金）</u>
	5 月 14 日	<u>山木屋地区で震災後はじめてガソリンスタンドが再開</u>
	6 月 6 日	<u>かわまた復興発電合同会社の設立</u> ※東日本大震災からの復興及び新たなまちづくりにへの支援を行う（町出資）
	6 月 7 日	<u>新中町地区における旧川俣製錬(株)跡地の煙突解体開始（復興公営住宅予定地）</u>
	7 月 8 日	<u>「早期帰還・定住プラン」に基づく川俣町早期帰還定住環境工程表の公表</u>
	7 月 28 日	<u>川俣町復興計画（第 2 次）の一部改訂</u>
	8 月 1 日～	<u>山木屋地区町政懇談会開催（4 年ぶりの町政懇談会開催（全 16 地区予定））</u> <u>山木屋地区復興推進委員会を設置（川俣町復興会議の下部組織）</u>
	8 月 1 日	<u>川俣町復興整備協議会設立、第 1 回川俣町復興整備協議会開催</u> ※農用地利用計画変更、農用地区域からの除外（羽田産業団地、山木屋地区太陽光発電施設）
	8 月 3 日	<u>川俣町農業復興祭の開催（4 年ぶりのトルコギキョウの市場出荷、農産物販売、山木屋太鼓・フォルクローレ演奏等）</u>

年月日		概要
平成 26 年	8月2日～ 17日	<u>特例宿泊の実施</u> ※27世帯、83名宿泊
	8月25日	<u>山木屋農業復興会議設立、山木屋地区営農組合設立</u>
	8月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく宅地除染終了</u>
	9月6日	<u>第1回山木屋地区復興推進委員会開催（毎月1回程度開催）</u>
	9月12日	<u>子ども屋内運動場（新中町）オープン（旧川俣精練事務所改築）</u> ※山木屋地区住民用復興公営住宅予定地の隣接地にオープン
	9月13日～ 9月28日	<u>秋のお彼岸特定宿泊の実施（お彼岸に実施するのは初）</u> ※6世帯、14名宿泊
	9月末	<u>山木屋の響（CD）完成</u> ※山木屋地区盆踊り音頭と、山木屋太鼓演奏を収録
	9月	<u>福島再生加速化交付金：農山村地域復興基盤総合整備事業（農業水利施設等保全再生事業）（川俣地区）採択</u> ※主要ため池29箇所のうち24か所を対象に、水質・底質の汚染状況等把握の基礎調査、5箇所は汚染濃度が高いため、基礎調査を省略して詳細調査（ため池の底質の汚染濃度分布の把握等）の実施
	10月～	<u>支障樹木等の伐採事業の実施、町道・林道路肩の除草の実施、県管理道路の修繕の実施</u>
	10月末	<u>国第12次福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業採択</u> ※川俣町山木屋地区コミュニティ再生商工業グループ（有）杉田屋電建工業等6者）
	11月	<u>居住制限区域における初の事業再開</u> ※（有）高橋牧場と（株）みちのくグリーン牧場の太陽光発電事業への事業転換、（有）千葉石材店）
	12月～	<u>井戸掘削工事開始</u> ※福島再生加速化交付金を活用
	12月20日～ 27年1月18日	<u>特例宿泊実施</u> ※19世帯、54名宿泊
	3月14日～29日	<u>特例宿泊を実施（春のお彼岸）</u> ※11世帯、28名宿泊

年月日		概要
平成 27 年	3月31日	井戸掘削工事 25件分の掘削完了。
	4月1日	除染等検証委員会発足
	4月26日～5月 10日	特例宿泊を実施 ※11世帯、23名宿泊
	7月3日	除染等検証委員会による中間報告発表。
	7月18日～8月 31日	夏の特例宿泊実施 ※26世帯、61名宿泊
	7月24日	川俣町山木屋地区復興メガソーラー売電開始
	8月24日	川俣町山木屋地区復興メガソーラー発電所落成式
	8月31日	準備宿泊を開始 11月30日まで
	8月31日	山木屋駐在所再開 ※9時～17時での常勤体制
	8月	出荷・摂取制限解除に向け18a（2a×9箇所）で野菜の 実証栽培を実施 ※ほうれん草、キャベツ、カブ、ブロッコリー、小松菜
	9月16日	井戸掘削工事開始（45件分）
	11月1日	井戸掘削工事開始（120件；109世帯及び11集会所分）
	11月30日	準備宿泊の3か月延長を決定。（平成28年2月29日まで）
平成 28 年	12月1日	復興公営住宅（新中町地区）建設工事開始
	1月～	ため池除染対策工事開始
	1月1日	山木屋地区居住制限区域における郵便集配業務再開
	1月22日	ベルグ福島(株)開所式（羽田工業団地）
	2月29日	準備宿泊を避難指示解除まで延長することを決定。
	3月末	井戸掘削 148件分掘削工事完了（138世帯及び10集会所分）
	3月17日	野菜出荷制限解除
	3月24日	西部産業団地開所式

年月日	概要
今後の予定	➤ 山木屋地区、飯舘村民等用県営復興公営住宅（壁沢地区）平成 28 年度 7 月頃建設工事着工予定。 ➤ 井戸掘削追加工事 48 件（平成 28 年度予定） ※47 世帯及び 1 集会所分 ➤ 農地・農業用施設の被災状況調査及び復旧工事の完了 ➤ 山木屋地区の小中学校施設の災害復旧 ➤ 役場新庁舎は平成 28 年度 8 月頃完成予定。 ➤ 復興拠点（商業施設）の造成開始（平成 28 年度予定） ➤ 山木屋郵便局の再開（平成 28 年度予定） ➤ ため池除染対策工事実施継続 ➤ タバコ試験栽培開始（平成 28 年度予定）

○飯舘村

年月日		概要
平成 25 年	4月27日～ 5月6日	<u>特例宿泊実施</u> ※ゴールデンウィークのほか、お盆、年末年始に実施
	6月	<u>「いいたてまでいな復興計画（第3版）」策定</u> ※4つの重点施策を策定（村内拠点の整備、村外拠点の整備、土地利用の見直しと森林・農地の長期的な再生、村民一人ひとりに対する支援の継続・拡大）
	8月2日	<u>「いっとき帰宅バス」運用開始</u> ※村が福島復興局の制度を活用して、一時帰宅する交通手段のない高齢者等を避難先から自宅まで送迎
	10月	<u>モデル除染後の農地において実証栽培（草野向押地区、小宮地区）、試験栽培（長泥地区〔帰還困難区域〕）された米の稲刈り実施</u> ※長泥地区の稲刈りには、菅野村長、嶋原行政区長、丸山福島復興局長が参加。実証栽培米は、全袋検査を行いイベントなどで試食・無料配布。
	11月21日	<u>「いやしの宿いいたて」利用者5万人達成</u> ※平成23年9月に村が福島市飯坂町の民間保養施設を借り受け、避難されている方の交流促進と健康増進を図る施設として開所。週末には100人を超える来場者がある。
	11月22日	<u>原子力災害被害者向けでははじめての災害公営住宅、飯舘村営飯野町団地を着工</u>
	11月	<u>村内の居住制限区域において、区域見直し以降から28事業所が国の許可を得て事業再開</u>
	12月9日	<u>地域活性化施設「きこり」機能回復事業竣工</u> ※震災後に休業中の体験宿泊施設の一部を、村が福島復興局の支援制度を活用して、村民が一時帰宅する際の休憩・交流の場として活用できるように改修
	12月27日	<u>大倉体育館修繕工事竣工</u> ※村が福島復興局の支援制度を活用して、修繕工事を実施
	3月6日	<u>住民意向調査結果公表</u>

年月日	概要
平成 26 年	「<u>いいたて ほっと安心寄っトイレ</u>」設置 ※村が福島復興局の支援制度を活用して、村が県道 12 号線（原町川俣線）沿い草野地区に、一時帰宅の方や通行者が利用できるトイレを整備した
	県道原町川俣線の八木沢峠でトンネル工事着手 ※県の「<u>ふくしま復興再生道路</u>」の一つに位置付けられている原町川俣線の整備事業が着手された（平成 28 年度に完成予定）
	飯舘村役場本庁舎で一部業務を再開 ※除染及び復興をさらに加速させるため、除染推進課（新設）及び復興対策課が飯舘村役場本庁舎での業務を再開。
	4 月 26 日～ 5 月 11 日 <u>特例宿泊の実施</u>
	6 月 20 日 「<u>いいたてまでいな復興計画（第 4 版）</u>」策定 ※復興拠点エリアの計画策定、復興会社（仮称）の設立検討、村内復興住宅の整備計画策定、村民一人ひとりに対する支援の拡大、営農再開方針の検討と国に対する要望事項、行政区計画策定の 6 点を重点施策推進のための重点事項として策定。
	7 月 19 日～ 8 月 17 日 <u>特例宿泊の実施</u>
	8 月 6 日 飯舘村小宮地区仮施設（減容化施設）の火入れ式 ※11 月から本格稼働
	8 月 31 日 飯舘村復興公営住宅飯野町団地竣工 ※「<u>村外子育て拠点</u>」として、福島市飯野町に 23 戸の住宅を整備し、スクールバスで通学する子どもと親の負担を軽減。原子力発電所事故被災者向けでは初の復興公営住宅。9 月 1 日に入居開始。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（復興公営住宅完成）</u>
	9 月 20 日～ 9 月 28 日 <u>特例宿泊の実施</u>
	11 月 28 日 「<u>いっとき帰宅バス</u>」の利用者数が 1 千人達成

年月日		概要
	12月20日～ 27年1月18日	<u>特例宿泊の実施</u>
平成 27 年	3月6日	<u>住民意向調査結果公表</u>
	3月25日～5 月10日	<u>特例宿泊の実施</u>
	4月25日～5 月10日	<u>特例宿泊の実施</u>
	6月3日	「 <u>飯舘村復興拠点深谷地区整備事業に係わる相馬福島道路からの発生土砂受入れ式</u> 」 ※復興拠点の整備にあたり、国土交通省福島河川国道事務所から、相馬福島道路工事で発生する土砂の提供を受けるもの。
	6月8日	「 <u>飯舘村交流センター</u> 」(旧村公民館) 建設工事の安全祈願祭 ※福島再生加速化交付金の農山漁村活性化プロジェクト支援事業
	6月17日	「 <u>いいたてまでいな復興計画(第5版)</u> 」策定 ※「ネットワーク型の新しいむらづくり」、4つの「村民部会」、「村内復興拠点」の機能と運営方針、「までいの村陽はまた昇る基金」についてとりまとめ。
	6月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく宅地除染終了</u>
	7月31日	<u>「セブン-イレブン飯舘村仮設店舗店」オープン</u>
	7月18日～8 月31日	<u>特例宿泊の実施</u>
	8月27,31,9 月2,3日	<u>方部別懇談会</u> ※「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」閣議決定された改訂版について、内閣府等から住民に対して説明。
	9月8日	<u>深谷地区太陽光発電施設安全祈願祭</u>
	9月12日～ 9月27日	<u>特例宿泊の実施</u>
	11月25日	<u>飯舘村蕨平減容化施設(仮設焼却施設)の火入れ式</u> ※平成28年1月から本格稼働

年月日		概要
平成 27 年	11 月 30 日	健康・福祉・医療再開準備検討委員会からの報告
	12 月 1 日	インターネット動画放送局「きぼうチャンネル」の開始
	12 月 1 日	「飯舘復興までい寄付金」の募集開始
	12 月 19 日～ 1 月 17 日	特例宿泊の実施
	12 月 28 日	防犯カメラ運用開始 ※村内 13 箇所に設置
平成 28 年	2 月 3 日	暮らし検討委員会からの答申
	2 月 8 日	「いやしの宿いいたて」閉所式
	2 月 17 日	学校等再開検討委員会からの答申
	2 月 19 日	住民意向調査結果公表（速報版）
	3 月 12 日～ 3 月 27 日	特例宿泊の実施
	3 月 16 日	モニタリングポスト運用開始
	3 月 24 日	「宿泊体験館きこり」開所式
	3 月	村営住宅（8 件）修繕完了
今後の予定		➤ 村営住宅（8 件）竣工予定 28 年 5 月 ➤ 「飯舘村交流センター」竣工予定 28 年 6 月 ➤ いいたてまでいな太陽光発電所(大火山) 竣工予定 28 年 4 月 ➤ 役場機能を本庁舎へ戻し、業務再開予定 28 年 7 月 ➤ 「いいたてクリニック」一部診療再開予定 28 年 9 月 ➤ 農地・道路等の除染終了予定 28 年 12 月 ➤ 道の駅「までい館」竣工予定 29 年 3 月 ➤ 飯舘中学校で幼稚園・小学校・中学校再開予定 30 年 4 月

○広野町

年月日		概要
平成 25 年	5 月 3 日	<u>震災後初めての田植え</u> ※震災前の作付面積 205ha に対し 110ha の水田を再開
	5 月 13 日	<u>広野小学校が震災後初めて、広野町多目的運動場で運動会を開催</u>
	5 月 20 日	<u>町が復興整備計画を公表</u> ※広野駅東側開発整備事業を復興のシンボル事業として位置づけ
	7 月 19 日	<u>広野町富岡土木事務所が完成 復興の拠点に</u> ※仮設庁舎の開所式が行われ、山田町長（当時）が「町民の帰還を目指す広野町にとっても大きな一歩」と挨拶
	7 月 27 日	<u>町が復興整備計画を公表</u> ※広野駅東側開発整備事業を復興のシンボル事業として位置づけ
	8 月 1 日	<u>JR 東日本、常磐線（広野～竜田間）復旧工事に着手</u>
	10 月 19 日	<u>「ふたばワールド 2013」14 年ぶりに開催</u> ※双葉地方広域圏組合が福島復興局事業などを活用し、「ふたばワールド」を広野町総合グラウンドで開催。約 3 千人の来場者で会場は賑わった。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(ふたばワールド 2013)
	11 月 4 日	<u>ニッ沼総合公園パークゴルフ場の再開</u> ※ 震災前は年間約 2 万 3000 人が利用。4 日にはリニューアルオープン大会が開かれ、町民ら約 200 人が久しぶりに地元のコースでプレーを楽しんだ。
	11 月 29 日	<u>「早期帰還・定住プラン」に基づく工程表を公表</u>
平成 26 年	12 月 3 日	<u>福島県知事が、双葉郡の中高一貫校を広野町に設置することを表明</u>
	1 月 10 日	<u>下水道処理施設から排出される汚泥の搬出開始</u> ※双葉郡で発生する下水汚泥を処理するため、双葉地方広域圏組合が復興局事業を活用し、県外処理業者に処理を委託

年月日		概要
平成 26 年	2月22日	<u>常磐自動車道広野 I C～常磐富岡 I C が再開通</u> ※震災後に通行止めになっていた 16.4km が再開通し ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(常磐道再開通式典の開催)
	3月14日	<u>公式スマートフォンアプリの提供を開始</u> ※広野町が公式ホームページや SNS など複数のメディア情報発信ポータルサイト開設（復興局事業を活用）
	3月16日	<u>復旧・復興工事起工式</u> ※復興交付金などを活用して、県が沿岸部の折木・下浅見川の両地区に堤防や道路、防災緑地などを整備する。平成 27 年度末の完成を目指す。
	3月26日	<u>県相双農林事務所双葉農業普及所が開所</u> ※双葉郡 8 町村の営農再開や復興を後押しする普及所が再開。除染後の農地管理、収穫米や土壌の分析、営農者の相談対応などを行う。
	3月31日	<u>復興計画（第二次）策定</u> ※広野町復興計画策定協議会において、同計画（第一次）の方向性を継承しつつ取りまとめ、さらに、町民の意見等を反映させ策定
	5月8日	<u>商工会宅配サービス（みかんちゃん）開始</u> ※広野町商工会と町内の小売店と連携した商品の宅配サービスを開始。衣料品店、文具店、精肉店、酒店など 13 店舗が参加し、注文を受けた日のうちに品物を届ける。
	6月1日	<u>常磐線広野～竜田間運行再開</u>
	6月10日	<u>生活環境整備事業（その 1）契約締結</u> ※町営住宅（大平住宅など 142 戸）の修繕事業などについて、広野町長へ福島復興局長が委託
	6月20日	<u>福島再生加速化交付金交付決定（放射線に対する健康不安解消事業）</u>
	6月15日	<u>国際シンポジウム「広野町から考える」開催</u> ※海外の研究者から避難者の帰還状況や町への提言が、町民代表の 6 人のパネリストから帰町に向けた提案や意見を発表

年月日		概要
平成 26 年		＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(国際シンポジウム～広野町から考える～)
	6 月 29 日	<u>消防団が「民報金ばれん」を披露</u> ※県下一の消防団をたたえ、大震災直後から町民の救出や避難誘導、町内パトロールの実施により防火・防犯に務めたことなどが認められ受賞 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(広野町消防団の「民報金ばれん」受賞を皆で祝賀)
	7 月 23 日	<u>根本復興大臣広野駅東側地区開発予定地等視察</u> ※復興のシンボル事業である駅東側地区開発事業の造成予定地や防潮堤・防災緑地建設予定地を視察
	7 月 24 日	<u>第 1 回広野まちづくり会議開催</u> ※「第 5 次広野町町勢振興計画」の策定のための「町づくり会議」委員に町民代表の 18 名が委嘱され、活発な議論の場が始まった。
	8 月 30 日	広野町仮設宿泊施設「ホテルリーブス」オープン
	9 月 17 日	<u>安倍総理大臣広野町視察</u> ※作付再開二年目を迎えた水田での稲刈り作業の体験や県立中高一貫校「ふたば未来学園高校」建設予定地等視察
	10 月 1 日	<u>ニッ沼総合公園大型複合遊具完成</u> ※「子ども元気復活交付金」を活用しリニューアルされたばかりの遊具の内覧会に、広野幼稚園児を招待
	10 月 16 日	<u>災害公営住宅の鍵引き渡し</u> ※広野町では第 1 号の完成となる災害公営住宅「広野原団地」(集合住宅 38 戸、戸建て住宅 10 戸)の鍵引き渡し式が行われた ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(双葉郡内初 災害公営住宅の鍵引渡し式)

年月日		概要
平成 26 年	10月20日	<u>広野駅東側第1期開発整備事業起工式</u> ※「福島再生加速化交付金」を活用し広野駅東側地区に新たに産業団地を整備、各種事業所や研究機関などの誘致を進める ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(広野駅東側第一期開発整備事業安全祈願祭・起工式)
	11月1日	<u>「放射線相談室」 専門家配置</u> ※「福島再生加速化交付金」を活用し放射線や除染に関する住民からの相談に、専門的に対応する「放射線相談室」を町役場内に開設
	11月29日	<u>第1回広野“ふる里ふれあい”マラソン～復興にけるリレーマラソン2014～の開催</u>
	12月18日	<u>広野町事業所集約用地等確保事業の交付決定</u> ※「福島再生加速化交付金」を活用し町内に立地する事業所を集約するための用地の選定等を行う事業
平成 27 年	4月1日	<u>防犯等のための見守りカメラ事業開始</u> ※文教地区を防犯重点エリアとして、通学する子供たちの安全を守るため防犯カメラを稼働
	4月8日	<u>県立中高一貫校「ふたば未来学園高校」開校</u> ※東日本大震災・福島第一原子力発電所事故からの再生と福島県の復興を支える人材育成を目指し開校。開校式には小泉復興大臣政務官が出席された。(一期生徒152名) ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックしてください！(復興へ新たな歴史 ふたば未来学園高校が開校)
	4月27日	<u>広野町仮設焼却施設(減容化施設)の火入れ式</u> ※国による代行処理、5月から本格稼働
	5月3日	<u>ニツ沼総合公園グランド・オープン</u> ※東日本大震災直後、この公園は廃炉作業等に携わる事業者の事業所や宿舍の敷地として一時的に使われていたところ、広野町の復興に合わせて廃炉作業等の体制が整ったことから、これら事業所等が退去した後、遊具の一新と芝などの整備を経てグランド・オープンした。

年月日		概要
平成 27 年		＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックしてください。(ふれあいフェスタ5年ぶり開催)
	5月25日	<u>広野駅東口ビル安全祈願祭・起工式</u> ※広野駅東側（津波被災地域）を復興ゾーンとして整備し、医療・商業・居住機能等を集約し、併せて廃炉関係企業を誘致・集約する開発整備事業のうち、広野町と清水建設でテナントビルを整備。 <u>衆議院東日本大震災復興特別委員会視察</u> ※県立中高一貫校「ふたば未来学園高校」の建設予定地を視察
	7月30日	<u>公設商業施設安全祈願祭・起工式</u> ※震災の影響により停滞している商業の活性化を図り、生活環境を整えることで町民の帰町を更に促進するため、町内において不足している食料品や生活用品等を取り扱う店舗等で構成する公設商業施設を整備。
	8月8日	<u>広野町サマーフェスティバル2015</u> ※町民の交流を図る目的で夏祭りを開催（今回は東日本大震災前と同じニッ沼総合公園にて開催）。
	8月26日	<u>広野町町制施行75周年記念式典</u>
	8月26日	<u>株式会社レイズの企業立地調印式</u> ※震災後初の広野工業団地への企業進出
	9月14日～20日	<u>国際フォーラム開催</u> ※避難住民等のコミュニティ維持等のための交流事業
	12月25日	<u>広野駅東口のオフィスビルを「広野みらいオフィス」に名称決定</u>
平成 28 年	1月14日	<u>ひろの防災緑地活動協定書を締結</u> ※特定非営利活動法人環境リレーションズ研究所、ひろの防災緑地サポーターズクラブ、福島県および広野町が、ひろの防災緑地活動協定書締結
	2月24日	<u>防災備蓄倉庫新築工事を起工</u> ※町内下北迫字岩作地内（広野小学校北側）で広野町防災備蓄倉庫新築工事（復興交付金活用）の起工式
	2月22日	<u>総合振興計画審議会を設置</u> ※第1回会議で遠藤町長が第五次広野町町勢振興計画基本計画（案）および第二次広野町国土利用計画（案）を諮問

年月日		概要
平成 28 年	2月5日	<u>“防災拠点道の駅ひろの” 整備合同専門部会を開催</u> ※第1回“防災拠点道の駅ひろの” 整備合同専門部会を開催
	3月5日	<u>“ひろのてらす” オープニングセレモニー開催</u> ※出店者は、キーテナントのスーパーマーケットのイオンのほかにリフォーム、飲食業2店、クリーニング業
	3月15日	<u>廃炉・除染宿舎乱立対策条例制定</u> ※事前に建築計画を町に提出、必要に応じ説明会を開催する
今後の予定		3月26日 広野みらいオフィス（広野駅東口ビル）竣工式開催予定

○ 檜葉町

年月日		概要
平成 25 年	5 月 19 日	<u>町内の食品スーパー再開</u>
	5 月 24 日	檜葉町復興計画〈第二次〉策定 ※帰町の時期の判断を平成 25 年の春とする時期区分の見直しや、竜田駅東口の開発やコンパクトタウン、産業集積ゾーンの構想を策定
	6 月 7 日	<u>公共インフラ復旧の行程表策定</u>
	6 月	<u>津波がれきを仮置場へ搬入完了</u>
	8 月 26 日	<u>町内のセブンイレブンが再開</u>
	11 月 8 日	<u>いわき明星大学と連携協力協定書に調印</u>
	11 月 11 日	浮体式洋上風力発電所が電力供給開始 ※沖合 20 キロで、世界初の浮体式洋上変電設備を備えた洋上風力発電施設の実用化に向けた実証試験を開始。
	11 月 26 日	<u>公共インフラ復旧の行程表見直し</u>
	11 月 29 日	<u>早期帰還・定住プランに基づく工程表策定</u>
	12 月 28～	特例宿泊実施 ※震災後初の特例宿泊。
平成 26 年	2 月 22 日	常磐自動車道広野 I C～常磐富岡 I Cが再開通 ※震災後に通行止めになっていた 16.4km が再開通した ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。(常磐道再開通式典の開催)</u>
	3 月 18 日	町復興対策本部会議による帰町計画の策定 ※帰町の判断基準として 12 項目が策定された。
	3 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく面的除染終了</u>
	4 月 21 日	<u>町政懇談会（～5/2）</u>
	4 月 25 日	<u>サケの稚魚放流再開</u> ※木戸川のサケの稚魚放流が、事故後初めて行われた。
	4 月 26 日～ 5 月 11 日	<u>特例宿泊の実施</u>
	5 月 29 日	松本町長が「帰町の判断」を表明（早ければ平成 27 年春以降に帰町）

年月日		概要
平成 26 年	6月1日	<u>常磐線広野～竜田間運行再開</u> ※避難区域内では初の運転再開となる。 <u>帰町準備室を設置</u>
	6月30日	<u>復興まちづくり会社「一般社団法人ならはみらい」設立</u>
	7月25日	<u>常磐自動車道「ならはスマートIC(仮称)」の整備決定(平成30年度供用開始予定)</u>
	7月31日	<u>仮設商業店舗「ここなら商店街」オープン</u>
	7月31日 ～8月17日	<u>特例宿泊の実施</u>
	9月20日 ～28日	<u>特例宿泊の実施</u>
	9月26日	<u>「檜葉遠隔技術センター」(廃炉のための遠隔操作ロボット実証試験施設)建設工事着手(27年度内の供用開始を目標)</u>
	11月5日	<u>住友金属鉱山株式会社の檜葉南工業団地への進出決定(27年末頃の本格操業開始を目標)</u>
	11月8日、 14日	<u>檜葉町「まちめぐりバスツアー」の実施</u>
	11月25日	<u>第5回檜葉町除染検証委員会の開催</u>
	11月28日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	12月22日	<u>原子力災害対策センター建設工事着手(県事業)</u>
	12月24日 ～1月7日	<u>特例宿泊の実施</u>
平成 27 年	1月30日	<u>町内のファミリーマートが再開(避難指示区域内で初の24時間営業)</u>
	3月1日	<u>檜葉パーキングエリアがオープン</u>
	3月22日	<u>「檜葉ならでは祭」の開催</u>
	4月6日	<u>「ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊」(準備宿泊)の開始</u>
	4月25日 ～5月10日	<u>国による住民懇談会の開催(計12回)</u>
	6月19日～ 6月28日	<u>国による住民懇談会の開催(計8回)</u>

年月日	概要
平成 27 年	7月6日
	高木原子力災害現地対策本部長が9月5日の避難指示解除を通知
	7月10日
	実証栽培による花卉（トルコギキョウ）の震災後初出荷
	7月13日
	ブイチェーンネモトによる町内宅配サービスが開始
	8月6日
	福島大学「いわき・双葉地域支援サテライト」があおぞらこども園に開所
	8月9日
	震災後はじめての「檜葉町内クリーンアップ作戦」の実施
	8月20日
	檜葉町総合教育会議で学校再開時期（平成29年4月）を決定
	8月26日
	ホテルルートインの立地決定・調印式（平成29年度の開業を目標）
	9月5日
	町内全域の避難指示が解除 「檜葉町復興記念式典」の開催 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（檜葉町の避難指示の解除）
	9月5日
	双葉警察署檜葉駐在所が業務を再開
	9月7日
	あおぞらこども園にサロン「ふらっと」がオープン
	9月11日
	県立診療所起工式（平成28年2月の開所を目標）
	9月19日
	しおかぜ荘・サイクリングターミナル リニューアルフェスタ
	10月1日
	ときクリニックが診療再開
	10月1日
	町内の新聞配達店が営業再開
	10月1日
	町内の防犯カメラが運用開始
	10月4日
	町内でゆずの実証栽培を開始
	10月10日
	ふたばワールド 2015in ならは
	10月13日
	檜葉仮設郵便局が営業再開
	10月18日
	木戸川のサケ漁5年ぶりに再開
	10月19日
	檜葉遠隔技術開発センター開所式
	10月31日
	秋空散策「あるこう会」の開催
	11月4日
	デイサービスセンターやまゆり荘再オープン
	11月
	町内の防犯灯の修繕が完了

年月日		概要
	12 月	<u>ウィンターイルミネーション in ならは（翌年 1 月まで）</u>
平成 28 年	1 月 31 日	<u>福島県立大野病院附属ふたば復興診療所開所</u>
	2 月 12 日	<u>災害公営住宅安全祈願祭・起工式</u>
	3 月 24 日	<u>住鉱エナジーマテリアル(株)開所</u>
	3 月 30 日	<u>檜葉遠隔技術開発センター試験棟完成式</u>
	3 月 30 日	<u>特別養護老人ホームリリー園再開式</u>
今後の予定		➤ 平成 29 年度内 竜田駅東側エリアの企業宿舎開業予定 ➤ 平成 29 年度内 コンパクトタウン商業施設が開業予定

○ 田村市

年月日		概要
平成 25 年	2 月	<u>川口内燃機鑄造株式会社を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>
	3 月	<u>農業用水道及び農道の復旧が完了</u>
	5 月	<u>避難指示解除準備区域内で震災後始めて出荷を前提とした田植え再開</u> ※4 世帯（約 6ha）が営農再開。
	6 月 7 日	<u>公共インフラ復旧の行程表策定</u>
	6 月 23 日	<u>「避難指示解除準備区域の今後」について住民との意見交換会開催</u>
	6 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく面的除染終了</u> ※避難区域内で初めての国直轄除染の終了
	8 月 1 日	<u>避難指示解除準備区域において「ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊」を開始</u> ※避難区域内で初めての帰還に向けた準備宿泊の開始
	8 月 1 日	<u>準備宿泊者を対象として、個人線量計の貸与を開始</u>
	8 月 2 日	<u>株式会社デンソー東日本を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>
	8 月 3 日	<u>避難指示解除準備区域内で 2 事業者が事業再開</u> ※宿泊業、畳製造・販売業。避難指示区域内で初の宿泊業の再開
	8 月 3 日	<u>都路灯祭りの開催</u> ※準備宿泊が認められて初めての開催。県内外から想定（1,200 人）を上回る約 2,000 人が参加（昨年比 +800 人）。2010 年の震災前は 9,500 人が参加。
	12 月 26 日	<u>早期帰還・定住プランに基づく行程表策定</u>
	3 月まで (26 年度内)	<u>都路町内の各施設の清掃・修繕等を実施</u> ※復興局の支援制度を活用して、都路町内の市営住宅（3 か所、合計 28 戸）、都路町内の小中学校・こども園・児童館、公営キャンプ場（グリーンパーク都路）、（移転先からの）引っ越し等を実施した。
	2 月 23 日	<u>避難指示解除準備区域に係る住民との意見交換会</u>

年月日		概要
平成 26 年	4 月 1 日	<u>避難指示の解除</u> ※3 月 10 日の原子力災害対策本部決定を受け、都路町の避難指示解除準備区域における避難指示が解除された（事故後、初めての避難指示解除）
		<u>都路地区と市中心部を結ぶ乗合タクシーの運行が開始</u>
		<u>田村地方夜間診療所が 3 月 22 日に船引町に完成し、4 月 1 日から診療を開始</u>
		<u>都路町内の公営キャンプ場「グリーンパーク都路」が再開</u>
	4 月 6 日	<u>共同商業施設（Domo（ど～も））が開店</u> ※国、県、市の支援等により都路町古道と岩井沢に食料品や日用雑貨を扱う仮設商店 2 店舗がオープンした。都路町内の 6 商店が都路商工会とともに運営にあたる（入居は 5 商店）。 <u>都路町内での小中学校・こども園が再開</u> ※事故後、市内の他の地域で授業を行っていた小中学校、こども園が、元々所在していた都路町古道で再開。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（3 年ぶりの学校再開と商業施設のオープン）</u>
	6 月 1 日	<u>都路町内に、交流スペース「よりあい処 華」がオープン。</u>
	7 月 10 日	<u>田村市内に新規造成予定の工業団地について、福島再生加速化交付金の交付決定</u>
	7 月 25 日	<u>磐越道の船引三春～小野間にスマートインターチェンジ「田村中央」設置が決定。</u>
	8 月 2 日	<u>4 年ぶりに震災前と同じ場所（グリーンパーク都路）での「都路灯まつり」開催。</u>
	8 月 30 日	<u>都路町の旧避難指示解除準備区域住民、国市との懇談会開催</u>
	9 月 12 日	<u>田村市内に新規設置予定の農産物直売所、都路町内の公的賃貸住宅建設等について福島再生加速化交付金の採択決定。</u>
	11 月 28 日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	12 月 2 日	<u>都路町で初の太陽光発電所（約 0.4MW）竣工式</u> ※グリーンパーク都路隣接地に(株)須賀川瓦斯が国県の補助

年月日		概要
		<u>を得て建設。</u>
平成 27 年	1 月 21 日	<u>都路町内への新規コンビニエンスストアが開店</u> <u>※震災前も含めて都路町で初めてのコンビニエンスストア</u> <u>開設。復興局の支援制度で土地造成等を実施。</u>
	6 月 13 日	<u>子供たちによる田村市の将来像に関する意見交換会開催</u> <u>※復興庁支援により実施</u>
	7 月 16 日	<u>賠償格差の是正を求める署名が田村市長へ提出されたこと</u> <u>を受け、旧避難指示解除準備区域と整合する賠償制度を構</u> <u>築する内容の要望書を復興庁及び経済産業省へ提出</u>
	8 月 1 日	<u>「都路灯まつり」開催（グリーンパーク都路にて）</u>
	10 月 18 日	<u>農産物直売所「ふあせるたむら」オープン</u>
	10 月 23 日	<u>中央化学株式会社を対象とした利子補給に係る復興推進計</u> <u>画の認定</u>
	12 月 4 日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
今後の予定		➤ 都路町への公的賃貸住宅建設（28 年 6 月入居開始予定） ➤ 都路町の<u>古道小学校と岩井沢小学校が統合予定（平成 29 年度より）</u> ➤ 産業団地整備 ➤ <u>「都路みらい公園」の整備</u> ➤ <u>「陣場スポーツ公園」の整備</u> ➤ <u>行司ヶ滝遊歩道の整備</u>

○ 葛尾村

年月日		概要
平成 25 年	3月22日	<u>区域見直し再編</u>
	4月1日	<u>震災後集配を休止していた宅配業者が、帰還困難区域を除く地域で集配業務を再開</u>
	4月8日	<u>休校していた村立葛尾小・中学校三春校再開</u> ※旧三春町要田中学校内に再開。入学式が行われ、小学生14名、中学生5名が参加。9月には葛尾幼稚園も要田に移転（6名）。
	4月8日～	<u>村内のガソリンスタンド再開</u>
	4月30日	<u>三春町に新仮庁舎を建設し、分散していた役場機能を集約</u>
	4月27日～ 5月6日	<u>特例宿泊の実施</u> ※13世帯、28名が宿泊
	4月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	5月～	<u>7アール（7カ所）の水田で試験栽培開始</u>
	7月	<u>かつらお復興事業協同組合設立</u>
	8月10日～ 18日	<u>特例宿泊の実施</u> ※17世帯、55名が宿泊
	9月8日	<u>村民のつどいの開催</u> ※震災前に実施していた「感謝祭」の縮小版として、公民館まつりと同時に開催。村民ら約250人が参加。
	10月28日～	<u>一時帰宅支援バスの運行を開始</u> ※自家用車等の移動手段を持たない避難者が一時帰宅を行う手段として、葛尾村が福島復興局の事業を活用して、住民が無料で乗車できるバスの運行を開始。初日は6名が利用した。
	11月1日	<u>平成25年度住民意向調査の結果公表</u>
	12月24日～ 26年1月7日	<u>特例宿泊の実施</u> ※8世帯、22名が宿泊
平成 26 年	1月28日	<u>せせらぎ荘の改修工事を開始</u> ※町民の一時帰宅の際の宿泊場所としても活用できるせせらぎ荘の復旧に向けた改修工事を開始
	4月1日	<u>一時帰宅支援バスの運行を本格的に実施</u> <u>支え合いセンターの運営</u> ※避難先における村民のコミュニティ維持や孤立防止、

年月日		概要
平成 26 年		健康状態の把握のため、引き続き復興局の支援制度を活用し支え合いセンターの運営を行う。
	4月26日～ 5月11日	<u>特例宿泊の実施</u> ※10世帯20人が宿泊
	5月～	<u>8アール（4カ所）の水田で試験栽培を実施</u> <u>8アール（1カ所）の畑地で牧草の試験栽培を実施</u>
	5月29日	<u>道路（村道・農道・林道）の災害復旧工事の完了</u> ※地震により被災した箇所の新築工事を完了。
	6月10日	<u>「かつらお再生戦略プラン」を村に答申</u> ※葛尾村復興計画の実現に向けて、村民の意向を踏まえ、復興再生のまちづくり計画を具体化してとりまとめたもの。
	6月～	<u>個別飲料水対策を開始</u> <u>※沢水・湧水等を飲料水として利用していた世帯に井戸の掘削工事又はフィルター配布を実施し、安全・安心な飲料水の確保を行う。</u>
	8月～	<u>8アール（4カ所）の畑地で野菜の試験栽培を実施</u>
	8月2日～ 8月17日	<u>特例宿泊の実施</u> ※14世帯42名が宿泊
	8月19日～	<u>集会所井戸掘削工事を開始</u> ※野行、落合、夏湯集会所を除く8行政区の集会所で井戸の掘削工事を実施し、安全・安心な飲料水の確保を行う。 ➤ 平成27年3月工事完了
	8月25日～	<u>庁舎改修工事を開始</u> ➤ 平成27年3月改修完了
	9月13日～ 9月28日	<u>特例宿泊の実施</u> ※6世帯10名が宿泊
	9月16日～	<u>災害公営住宅の造成工事を開始</u> ※三春町の恵下越地区に125戸の災害公営住宅を整備するための造成工事を行う。
	9月19日	営農再開に向け農地復興組合発足 ※葛尾村内での営農再開に向け、除染を完了した農地を保全・管理する葛尾村農地復興組合が発足

年月日		概要
平成 26 年	10月11日	日山神社例大祭を震災後はじめて村内の日山で開催 ※震災後はじめて田沢・茂原（二本松市）、葛尾（葛尾村）の三地区が日山の山頂で例大祭を行った。三匹獅子舞の奉納は避難先の過足仮設団地で行われた。
	11月18日	道路（村道・林道）の修繕工事を開始 ※長期避難に伴い道路の損傷が激しいことから、道路の維持補修工事を実施し、一時帰宅者への通行の安全を確保するもの。 ➤ 平成27年3月工事完了
	12月5日～	村営住宅（新西ノ内団地）の修繕工事を開始 ※新西ノ内団地20棟のうち、今年度は5棟の修繕を行う。 ➤ 平成27年11月修繕完了
	12月20日～ 1月18日	特例宿泊の実施 ※9世帯15名が宿泊
平成 27 年	3月14日～ 3月29日	特例宿泊の実施 ※6世帯12名が宿泊
	4月1日～	葛尾村役場の一部村内再開
	4月8日	葛尾村中心拠点等整備計画策定 ※葛尾再生戦略プランに基づき、村の中心部に位置する落合地区を中心に復興のための商業や交流拠点整備の計画をとりまとめたもの
	4月16日	葛尾村仮設処理施設（減容化施設）火入れ式 ※野行行政区地蔵沢地区内に対策地域内廃棄物処理施設が完成、5月から本格稼働
	4月26日～ 5月10日	特例宿泊の実施 ※10世帯23名が宿泊
	4月～	簡易水道浄水場の修繕事業を実施 ※深井戸水源の確保
	5月15日	日本大学工学部と「葛尾村の復興まちづくりに係る包括連携協定」を締結
	5月～	村営住宅（新西ノ内団地）の修繕工事を開始 ※新西ノ内団地20棟のうち、今年度は15棟の修繕を行う。
	6月～	1.2ha（7戸）の水田で実証栽培を実施
	7月18日	特例宿泊の開始8月31日まで
	8月31日	準備宿泊を開始11月30日まで

年月日		概要
平成 27 年	8 月～	<u>出荷・摂取制限解除に向け 14a (2a×7 箇所) で野菜の実証栽培を実施</u> ※ほうれん草、キャベツ、カブ、ブロッコリー、小松菜
	8 月～	<u>地域福祉センターの修繕事業を実施</u>
	10 月～	<u>幼稚園の修繕事業を実施</u>
	11 月 24 日	<u>準備宿泊を 2 月 29 日まで延長</u>
	12 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく面的除染終了</u>
平成 28 年	2 月 27 日	<u>JA 葛尾支店再開</u>
	2 月 29 日	<u>準備宿泊を平成 28 年春の避難指示解除までの間延長</u> ※43 世帯 119 人が登録（平成 28 年 3 月 25 日現在）
	3 月 17 日	<u>野菜の出荷・摂取制限解除</u> ※結球性葉菜類、非結球性葉菜類、アブラナ科花蕾類、カブ
今後の予定		➤ 役場の本格再開 ➤ 村内宿泊施設（せせらぎ荘）でのサロンオープン ➤ 地域福祉センターの再開 ➤ 診療所（歯科）の再開 ➤ 郵便局の再開 ➤ 復興公営住宅への入居開始 ➤ 文教施設の修繕事業開始 ➤ オンデマンドタクシーの運営開始

○ 川内村

年月日		概要
平成 25 年	3月15日	<u>川内村第4次総合計画の策定</u>
	4月26日	<u>植物工場（KiMiDoRi）の操業開始</u>
	4月27日～ 5月6日	<u>特例宿泊の実施</u> ※15世帯30名が宿泊
	5月～	<u>旧緊急時避難指示準備区域の水田における本格作付開始</u>
	6月7日	<u>公共インフラ復旧の行程表策定</u>
	8月10日～ 8月18日	<u>特例宿泊の実施</u> ※22世帯56名が宿泊
	11月26日	<u>公共インフラ復旧の行程表見直し</u>
	11月29日	<u>早期帰還・定住プランに基づく行程表策定</u>
	12月3日	<u>復興庁が双葉郡内に初めて川内村に設置した「福島復興局帰還環境整備センター（CAP）」開所</u> ※当面は警戒区域が再編された田村、楡葉、川内、葛尾の4市町村の帰還に向けた課題解決に取り組む
平成 26 年	12月24日～ 1月7日	<u>特例宿泊の実施</u> ※19世帯56名が宿泊
	3月3日	<u>県双相農林事務所双葉農業普及所川内普及所が開所</u>
	3月5日	<u>「かわうち葬祭センターふるさと」オープン</u> ※震災後、自宅や他の市で実施していた葬祭が川内村内で行えるようになった
	3月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく面的除染終了</u>
	4月26日	<u>かわうちの湯の再開</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <u>ここをクリックして下さい。（川内村に温泉施設「かわうちの湯」がオープン、帰還に向けた準備宿泊が開始）</u>
	4月26日～ 5月11日	<u>特例宿泊の実施（居住制限区域）</u>
	4月26日～ 9月30日	<u>準備宿泊の開始（避難指示解除準備区域）</u> ※避難指示解除準備区域については、3ヶ月間の準備宿泊を開始し、その後、2度の延長を行う。8月26日時点で、対象の134世帯275人のうち、22世帯48人が準備宿泊の申し込み。
	4月29日	<u>上川内諏訪神社で春期祭礼</u>

年月日		概要
平成 26 年		※震災後はじめて、県重要無形民俗文化財に指定されている「三匹獅子」が奉納された。
	5月1日	<u>国保診療所に常勤医師が着任</u> ※4月以降常勤医師が不在だったが、5月から常勤医が内科診察を行っている。
	6月1日	<u>避難指示区域（旧警戒区域）住民懇談会</u>
	6月25日	<u>コドモエナジー（株）川内第一工場の操業開始</u>
	7月12日	<u>天山祭りの開催</u>
	7月13日～ 7月14日	<u>避難指示区域への帰還に向けた懇談会</u>
	8月15日	<u>2014川内復興祭の開催</u>
	8月17日	<u>避難指示区域への帰還に向けた懇談会</u>
	9月26日	<u>「特別養護老人ホームかわうち」安全祈願祭</u>
	9月28日	<u>「ふたばワールド2014」 in 川内村の開催</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（「ふたばワールド2014 in 川内村」開催）</u>
	10月1日	<u>避難指示区域の一部地域の避難指示解除</u>
	10月8日	<u>シャープ川内平伏森太陽光発電所建設工事安全祈願祭</u>
	11月26日	<u>川内村仮設焼却施設（減容化施設）の火入れ式</u> ※12月から本格稼働
	12月22日	<u>災害公営住宅起工式</u>
平成 27 年	1月9日	<u>川内村村民プール整備事業安全祈願祭</u>
	3月19日	<u>県道小野富岡線五枚沢工区安全祈願祭</u>
	3月25日	<u>ユーラス福島川内ソーラーパーク（太陽光発電所）建設工事安全祈願祭</u>
	6月1日	<u>川内村災害公営住宅入居開始</u>
	6月6日	<u>複合商業施設（Y0-TASHI）安全祈願祭、起工式</u>
	6月8日	<u>かえるかわうち・メガソーラー発電所建設工事安全祈願祭</u>
	7月11日	<u>第50回天山祭りの開催</u>

年月日		概要
	10月17日、 10月18日	<u>「そばフェスタ in かわうち」開催</u>
	11月1日	<u>特別養護老人ホームかわうち開所</u>
平成 28 年	2月	<u>対策地域内廃棄物の減容化処理完了</u>
	3月15日	<u>複合商業施設「ショッピングセンターY0-TASHI」オープン</u>
	3月15日	<u>田ノ入工業団地整備事業起工式</u>
今後の予定		➤ <u>川内村村民プール「もりたろうプール」オープン</u>（平成28年4月3日） ➤ <u>川内村長選挙</u> 4月7日告示 4月17日投票 ➤ <u>第1回川内の郷かえるマラソン大会～復興から創生への振り返り～開催</u>（4月30日）

○ 浪江町

年月日		概要
平成 25 年	4 月 1 日	<u>区域見直し実施</u>
	4 月 1 日	<u>浪江町役場本庁舎再開（役場職員常駐の開始）</u>
	6 月 26 日	<u>県外に避難している小中学生交流会の開催</u> ※県外に避難している小中学生、全 9 校の交流の場を 設け、こどもたちの絆を維持した。
	6 月 26 日	<u>町民交流会の開催</u> ※県内外で交流会を開催し、町民どうしの絆を維持し た。
	7 月 1 日	<u>町内で初めての事業再開</u> ※ガソリンスタンドの叶屋が事業再開。平成 26 年 2 月 5 日時点で、7 社が事業を再開。
	9 月 1 日	<u>役場本庁舎内に、応急仮設診療所を開設</u> ※医師 1 名、看護師 1 名が、月曜日と水曜日を除く集 5 日、けが、病気等の初期応急手当を行っている
	9 月 20 日	<u>二本松市内に整備する福島県の復興公営住宅の候補地 を公表（二本松市油井地区に 7 0 戸）</u>
	10 月 4 日	<u>住民意向調査（速報版）公表</u>
	10 月	<u>帰還困難区域モデル除染工事開始</u>
	11 月 9 日 10 日	<u>愛知県豊川市で開催された B-1 グランプリで、なみえ 焼きそばがゴールドグランプリを獲得</u>
	11 月 29 日	<u>まちづくり計画検討部会が中間報告案を作成</u>
	11 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	12 月 26 日～	<u>安全な墓参りのための環境整備</u> ※住民が安全に墓参りできるよう、墓地の除染に加え、 墓石の安全な場所への仮置きを支援
平成 26 年	2 月 1 日	<u>防犯対策を継続的に実施</u> ※防犯パトロールに加え、ビデオカメラを町内に設置 し、防犯機能を強化した
	3 月 10 日	<u>常磐道（南相馬 IC～浪江 IC）の年内開通</u> ※安倍総理の記者会見で、上記 18km の開通について言 及があった
	3 月 17 日	<u>避難指示解除準備区域内への郵便配達の再開</u>

年月日		概要
平成 26 年	3月20日	<u>「復興まちづくり計画」を町に提言</u> ※復興計画策定委員会から町に計画を提言。比較的線量の低いJR常磐線東側の避難指示解除準備区域を「復興拠点」と位置づけ、生活基盤を集中整備する。
	3月下旬	<u>安全なお墓参りができるような環境を整備</u> ※復興局の支援制度も活用し、お彼岸の墓参りができるよう、彼岸前までに、安全にお墓参りができるような墓地整備を実施した 福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。(安全にお墓参りができる環境の整備と浪江共同墓地安全祈願祭の開催)
	4月1日	<u>町道の維持管理</u> ※町道のうち生活道路120kmについて、復興局の支援制度を活用し除草などを行い、一時帰宅時の町民の安全を確保
	4月25日	<u>一時立入の運用改善</u> ※原子力災害現地対策本部は、帰還困難区域への住民の一時立入りを、平成26年度は年15回（平成25年度は月1回）に増やす運用に改善した。
	5月16日	<u>酒田地区（居住制限区域内）で震災後初の実証栽培の田植えを実施</u>
	6月11日	<u>総合医療センターを二本松市に設置する方針を発表</u> ※同市石倉地区に建設予定の復興公営住宅敷地内に整備する予定。本年度中に着工・次年度の完成を目指す。
	6月22日	<u>タブレット端末の配付に向けた試作品体験会</u> ※復興局の支援制度を活用し、町民への円滑な情報提供、コミュニティ維持のためにタブレット端末の配付を計画。
	8月27日	<u>幾世橋でコンビニエンスストア再開</u>
	8月	<u>帰還困難区域モデル除染工事完了</u>
	10月4日	<u>酒田地区で稲刈りを実施</u> ※町を支援した関係機関に配布。
	10月17日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	11月27日	<u>住民パトロール隊「浪江町防犯見守り隊」発足</u> ※浪江IC開通を前に希望する住民を募る。
	12月6日	<u>常磐道浪江～南相馬ICが開通</u>

年月日	概要
平成 27 年	<u>タブレット端末の配付開始</u> ※全町民約 10000 世帯のうち、申し込みのあった約 5500 世帯を対象にし、県外に避難した世帯から順次発送。
	<u>県警特別警ら隊相双分駐帯隊、双葉署浪江分庁舎での業務を開始</u> ※常磐道の全線開通等を控え、警戒に当たる。
	<u>3 月 1 日</u> 常磐道常盤富岡～浪江 I C が開通
	<u>3 月 30 日</u> 請戸地区に共同墓地「町営大平山霊園」が完成
	<u>4 月 27 日</u> 双葉・浪江両町にまたがる沿岸部を復興祈念公園の整備候補地とすることを県が発表
	<u>5 月 15 日</u> ふるさと納税者へのふるさと産品送付を再開 ※大堀相馬焼の製品、浪江焼きそば、純米酒など。
	<u>5 月 18 日</u> 居住制限区域内の酒田地区にて田植え ※JA を通じて政府備蓄米などとして、事故後初めての出荷を予定。
	<u>5 月 25 日</u> 浪江町仮設焼却施設（減容化施設）の火入れ式 ※5 月から本格稼働
	<u>5 月 31 日</u> 桑折・浪江両町民のための災害公営住宅「桑折駅前団地」の竣工式が行われる ※3LDK 住宅 47 戸のうち、浪江町民には 35 戸を割り当てる。
	<u>6 月 3 日</u> 海岸復旧工事（棚塩、請戸中浜、浪江中浜）の着工式が行われる ※平成 29 年度末までに消波ブロックの設置と離岸堤を整備。その後に堤防工事を予定。
	<u>8 月 3 日</u> 浪江町交流・情報発信拠点施設基本計画検討委員会の設立
	<u>9 月 30 日</u> 避難指示解除に関する有識者検証委員会を設置 ※避難指示の解除に向けて除染やインフラ整備の進捗状況を専門家の視点で検証・評価。
	<u>10 月 1 日</u> 空席となっていた副町長に、宮口勝美（前・町復興推進課長）・本間茂行（県から出向）の両氏が就任
	<u>10 月 14 日</u> 「実証栽培」と「試験栽培」を行った酒田地区にて稲刈りを実施

年月日		概要
平成 27 年	10月16日	<u>相双生コンクリート協同組合の新工場「ふたば復興生コン」が高瀬地区に完成し竣工式が行われる</u> ※建設に当たって津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用。
	10月20日	<u>津波被災地である請戸・南棚塩両地区の様子をデータ化し保存する取り組みを開始</u> ※請戸小学校周辺で「ドローン」を使い航空写真を撮影する作業を報道陣に公開。
	11月15日	<u>任期満了に伴う町長選挙、馬場有町長が3選を果たす</u> ※元副町長、前町議会議長の両候補者に大差をつける。任期は12月16日から4年間。
	12月16日	<u>平成29年3月までに町役場に隣接した町立診療所を建設する計画を馬場町長が発表</u>
平成 28 年	1月6日	<u>JR東日本が不通となっている常磐線浪江・小高間の復旧工事を開始</u> ※帰町開始とする平成28年3月の再開を目指す。
	2月26日	<u>激励のメッセージが残る請戸小学校の黒板が取り外される</u> ※災害伝承や防災教育に活用するため、当面、幾世橋小学校内に保管。
	3月	<u>津波がれきを彼置場へ搬入完了</u>
今後の予定		➤ <u>4月1日から順次町内の検問所・バリケード撤去</u> ➤ <u>請戸漁港の修復完成（平成28年度中）</u> ※当面30隻程度の漁業規模を想定した復旧作業

○ 双葉町

年月日		概要
平成 25 年	5 月 8 日	町による復興まちづくり計画（第一次）策定
	5 月 28 日	<u>区域見直し実施</u> ※国が事故後に設定した警戒区域の再編が完了
	6 月 17 日	埼玉県加須市から福島県いわき市に町役場機能を移転
	8 月 28 日	<u>津波被災地復旧・復興事業計画検討会立上げ</u>
	8 月 1 日～	<u>町内防犯・防災パトロールの拡充</u>
	9 月 23 日～	<u>帰還困難区域内の町道補修事業</u> ※帰還困難区域内の町道全体の補修
	10 月	<u>帰還困難区域モデル除染工事開始</u>
	11 月～	<u>双葉町立小中学校・幼稚園の合同仮校舎建設着手</u> ※休止中の町立小中学校と幼稚園の授業を再開するため、いわき市内に合同仮校舎を建設
	11 月 29 日～	<u>安全な墓参りのための環境整備</u> ※住民が安全に墓参りできるよう、墓地の除染に加え、墓石の安全な場所への仮置きを支援
	12 月 27 日	<u>旧騎西高の双葉町民全員が退去</u> ※東日本大震災関連で最後の避難所となっていた埼玉県加須市の旧騎西高から全町民が退去（最も多い時で 1,423 人が避難）
平成 26 年	2 月 5 日	<u>復興推進委員会が、復興に向けた第一期提言書を取りまとめて町に提出</u>
	3 月 5 日	<u>まちづくり実施計画（第一期）策定</u>
	3 月 15 日	<u>安全なお墓参りができるような環境を整備</u> ※復興局の支援制度も活用し、安全にお墓参りができるよう墓地整備を実施 <i>福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。(安全にお墓参りができる環境の整備と浪江共同墓地安全祈願祭の開催)</i>
	4 月 1 日	<u>防犯対策を継続的に実施</u> ※防犯パトロールに加え、防犯カメラを町内に設置し防犯機能を強化
	4 月 1 日	<u>双葉町立の小中学校・幼稚園を再開</u> ※現在いわき市立等の学校に通っている児童・生徒を対象に、双葉町立の学校等で授業を再開 ※事故で全域が避難区域に指定された 7 町村全てで、自前の学校を整備して授業が再開される。

年月日		概要
平成 26 年	4 月 24 日	<u>タブレット端末の配付</u> ※全国各地へ避難した町民への円滑な情報提供、コミュニティ維持のために活用
	4 月 25 日	<u>一時立入の運用改善</u> ※原子力災害現地対策本部は、帰還困難区域への住民の一時立入りを、平成 26 年度は年 15 回（平成 25 年度は月 1 回）に増やす運用に改善
	5 月 21 日	<u>町道・農道の除草作業を開始</u> ※復興局の支援制度を活用し、町道や農道の除草などを行い、一時帰宅時の町民の安全を確保
	6 月 26 日	<u>ため池周辺の除草作業を開始</u> ※復興局の支援制度を活用し、ため池の維持管理に必要な進入路の除草を実施
	7 月	<u>特別地域内除染実施計画の策定</u> ※両竹・浜野行政区が対象
	8 月	<u>帰還困難区域モデル除染工事終了</u>
	8 月 24 日	<u>双葉町立幼小中学校仮設校舎落成式</u> ※児童生徒数 15 名
	9 月 15 日	<u>国道 6 号、県道 36 号通行自由化</u> ※浪江、富岡において入域制限があった国道 6 号、県道 36 号が午前 0 時をもって車両通行自由化
	11 月 7 日	<u>復興公営住宅八山田団地鍵引き渡し式</u> ※双葉町民が入居する初めての団地 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(初の県営復興公営住宅 鍵引き渡し式)
平成 27 年	11 月 14 日	<u>復興まちづくり長期ビジョンの中間報告</u> ※第 12 回復興推進委員会が開催され、双葉町の長期ビジョンの中間報告を作成
	11 月 14 日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	1 月 6 日	<u>町内防犯・防災パトロールの拡充</u> ※夜間パトロール作業の追加（車両 2 台）
	2 月	<u>拠点除染等工事（帰還困難区域）開始</u>
	3 月 12 日	<u>復興まちづくり長期ビジョンを決定</u>
	4 月 27 日	<u>復興祈念公園の設置候補地として決定</u> ※双葉町・浪江町にまたがるエリアが設置候補地として

年月日		概要
平成 27 年		決定
	5 月	特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始
	6 月 12 日	双葉町への追加 I C の連結許可
	7 月 30 日	第一回双葉町復興町民委員会を開催 ※復興まちづくり長期ビジョンの施策の具現化に向け、 様々な意見等を求めるため設置
平成 28 年	1 月 9 日	5 年ぶりに巨大ダルマ引きが復活 ※江戸時代から続いている新春恒例の双葉町ダルマ市 で 5 年ぶりに復活した巨大ダルマ引きが行われた。
	1 月 22 日	双葉町復興町民委員会から町長へ提言書を手交 ※今後町では提言書を踏まえて町づくり計画を検討
	2 月 19 日	住民意向調査速報版の公表
	3 月 3 日	町外復興拠点となる勿来酒井復興公営住宅の一部につ いて入居募集開始
	3 月末	両竹・中浜行政区の本格除染終了（予定）
	3 月	津波がれきを仮置場へ搬入完了
	今後の予定	➤ 双葉駅に隣接するコミュニティーセンターを一時 滞在施設として利用（平成 28 年度内） ➤ 駅西の復興拠点の除染開始（平成 28 年度）

○ 大熊町

年月日		概要
平成 25 年	12月10日	<u>区域見直し実施</u>
	5月20	<u>屋根養生等の補修</u> ※雨漏り等で家屋の荒廃が進まないよう、大熊町内全域で、屋根の養生等を施すための支援
	6月20日	<u>防災行政無線伝搬調査</u>
	6月20月～	<u>安全な墓参りのための環境整備</u> ※住民が安全に墓参りできるよう、墓地の除染に加え、墓石の安全な場所への仮置きを支援
	6月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	12月5日～	<u>防火対策として、除草を実施</u>
平成 26 年	1月16日	<u>復興まちづくりビジョン中間報告の公表</u> ※平成30年度内までに町の新たな復興拠点を整備する。
	3月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく面的除染終了</u>
	4月1日	<u>防犯対策を継続的に実施</u> ※防犯カメラを町内に設置し防犯機能を強化
		<u>特別通過交通制度の拡大</u> ※国道288号から県道35号に抜けることが可能になり、常磐富岡ICの再開と合わせ、利便性が大幅に高まる。
		<u>大川原スクリーニング場の開設</u> ※特別通過交通が拡大されることに伴い、大川原地区にスクリーニング場を設置
	4月25日	<u>一時立入の運用改善</u> ※原子力災害現地対策本部は、帰還困難区域への住民の一時立入りを、平成26年度は年15回（平成25年度は月1回）に増やす運用に改善した。また、住民に線量計などを貸与する中継基地も1カ所増設した。
	5月19日	<u>大川原地区（居住制限区域内）で、震災後初の試験栽培の田植えを実施（</u>
	5月29日	<u>東電の給食センター着工</u>
	7月2日	<u>大熊町復興第一仮設アスファルトプラント稼働</u> ※アスファルトは常磐富岡インターチェンジから双葉町と浪江町の境まで10.7kmの整備に使用

年月日		概要
平成 26 年	7月3日	<u>第二次復興計画の検討委員会が発足</u> ※復興まちづくりビジョンを基に、第二次復興計画を策定するため、有識者や町民、町職員ら21人で構成した検討委員会を発足し、第1回検討委員会を開催
	7月20日	<u>熊川稚児鹿舞4年ぶり復活の舞</u> ※「おおくま・甲和会合同夏まつり」において、震災の津波で衣装や楽器が流され、原災の避難もあって中断していた大熊町の伝統芸能「熊川稚児鹿舞」が地元小学生や保存会の努力で4年振りに復活
	8月27日	<u>営農再開に向け農業復興組合が発足</u> ※大熊町での営農再開に向け、除染を終了した農地を保全・管理する組織、大熊町農業復興組合が発足
	9月15日	<u>国道6号、県道36号通行自由化</u> ※浪江、富岡において入域制限があった国道6号、県道36号が午前0時をもって車両通行自由化
	10月7日	<u>4年ぶり希望の稲刈り</u> ※大川原地区の実証田で栽培された米が収穫され、関係者が4年振りの稲刈りに汗
	11月3日	<u>大熊町町制60周年記念式典</u> ※避難拠点である会津若松市で記念式典を挙行し、町表彰条例に基づく表彰などを行うとともに、1日も早い古里の復興を願う
	11月14日	<u>第二次復興計画の中間報告のまとめ</u> ※第5回検討委員会が開催され、避難先での暮らしの快適性向上など6つのプロジェクトを柱に町のあるべき方向性を示した中間報告を作成
	11月14日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	12月12日	<u>大熊町復興のための中学生による意見発表会</u> ※大熊中の代表生徒が古里復興に向けた提言
	12月15日	<u>災害公営住宅の入居開始</u> ※大熊町民が入居する災害公営住宅第一号が会津若松市古川町に完成
	12月25日	<u>国道288号玉ノ湯バイパス開通</u> ※帰還困難区域内での初のバイパス開通
	12月	<u>拠点除染等工事（帰還困難区域）開始</u>

年月日		概要
平成 27 年	1月25日	大熊町民の交流拠点「梨の実サロン平」がいわき市平にオープン ※町が運営する初めての常設サロン
	2月18日	おおくま未来合同会社を設立 ※大熊町の農業者らが農業再生を目指し設立
	3月20日	大熊町第二次復興計画を策定
	3月31日	福島給食センターが開所 ※東京電力福島第一原発の作業員に1日3,000食の温かい食事を提供
	5月22日	大川原地区の水田で試験栽培の田植えを実施
	6月12日	大熊町への追加I Cの連結許可
	7月21日	大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所の起工式
	8月28日	拠点除染等工事（帰還困難区域の下野上地区）開始
	10月27日	住民意向調査速報版の公表
	12月7日	避難所機能を備えた企業事務所の地鎮祭 ※東京エネシスが大川原地区に建設する町民避難所を備えた新事務所の地鎮祭を実施
平成 28 年	1月27日	大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所の竣工式 ※大川原地区にメガソーラー施設が完成。7,700枚余りの太陽光パネルを今後20年にわたって稼働
	3月	津波がれきを仮置場へ搬入完了
今後の予定		➤ 平成28年4月1日から役場機能の一部（環境対策課、産業建設課、健康介護課）をいわき出張所へ移転 ➤ 平成28年4月1日から二本松市の役場中通り連絡事務所を郡山市に移転 ➤ 大川原地区への廃炉作業に携わる企業の進出 ➤ 大川原地区への東京電力社員寮750戸の建設 ➤ 太陽光利用型植物工場の建設

○ 富岡町

年月日		概要
平成 25 年	3 月 25 日	<u>区域見直し実施</u>
	4 月 20 日	<u>富岡町桜の集い 2013 開催</u> ※車窓からの観桜。安倍総理からのメッセージあり
	6 月	<u>特別地域内除染実施計画の策定</u>
	8 月 7 日	<u>富岡町小中高校生の「再会の集い」開催</u> ※900 人の小中高生と保護者が一堂に会し、懐かしい友達との再会などでふるさとへの想いが高まった。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(富岡町「小中高生再会の集い」)
	9 月 5 日 12 日	<u>敬老会の再開</u> ※震災前に毎年開催していた敬老会を再開。2,500 名の高齢者がふるさとへの想いを高めた
	9 月 27 日	<u>住民意向調査結果公表</u>
	11 月 22 日～ 24 日	<u>学用品等持出し支援</u> ※避難指示区域にある幼稚園・小中学校に置きっぱなしになっている「思い出のある私物」を持ち帰り、ふるさとへの想いを再確認した。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(思い出の品との再会（避難指示区域からの学用品等の持出し）)
平成 26 年	11 月 29 月～	<u>安全な墓参りのための環境整備</u> ※住民が安全に墓参りできるよう、墓地の除染に加え、墓石の安全な場所への仮置きを支援
	1 月	<u>特別地域内除染実施計画に基づく本格除染開始</u>
	2 月 22 日	<u>常磐自動車道広野 I C～常磐富岡 I C が再開通</u> ※震災後に通行止めになっていた 16.4km が再開通した <u>特別通過交通制度の拡大</u> ※常磐富岡 I C の再開に伴い、国道 6 号から県道 36 号に抜けることができるようになった ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(常磐道再開通)

年月日		概要
平成 26 年	3 月 18 日	<u>町が上下水道の再開目標を発表</u> ※10 月から上下水道の仕様を順次再開する目標を発表。生活環境復旧の進み具合に合わせ、平成 28 年 10 月までに帰還戸困難区域などを除く全ての対象地域での使用再開を目指す。
	3 月 24 日	<u>復興まちづくり計画を町に提言</u> ※富岡町まちづくり検討委員会は、ＪＲ富岡駅周辺に都市機能を集積するほか、曲田地区周辺を住宅集積地とし、復興の拠点機能を整備する方針を盛り込んだ計画を町に提言した。
	4 月 1 日	<u>高津戸スクリーニング場の開設</u> 特別通過交通が拡大されることに伴い、4 月 1 日より、高津戸地区にスクリーニング場を設置
		<u>防犯対策を継続的に実施</u> ※福島復興局の支援制度を活用し消防団員によるパトロール隊の警備を継続
		<u>絆カフェとみおか等の交流サロン運営を継続</u> ※福島復興局の支援制度を活用し、町民同士が情報交換や交流する場の運営を継続
	4 月 12 日	<u>富岡町「復興への集い 2014」の開催</u> ※福島復興局の支援制度を活用し、夜ノ森の観桜の後、広野町中央体育館で住民交流イベントを実施。亀岡、小泉両政務官が出席 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(富岡町復興への集い 2014)
	4 月 17 日	<u>シャープ富岡太陽光発電所について基本協定締結</u> ※富岡工業団地でシャープ(株)がメガソーラー発電所（計画出力 2.2MW）を設置することについて、富岡町と同社が基本協定を締結
	4 月 25 日	<u>一時立入の運用改善</u> ※原子力災害現地対策本部は、帰還困難区域への住民の一時立入りを、平成 26 年度は年 15 回（平成 25 年度は月 1 回）に増やす運用に改善した。また、住民に線量計などを貸与する中継基地も 1 カ所増設した。

年月日		概要
平成 26 年	5 月 15 日	<u>米出荷に向けた実証栽培開始</u> ※避難指示解除準備区域に設定されている下郡地区 120 アールで、15 日に田植えを実施。平成 25 年 30 アールで行われた試験栽培では全量廃棄となったが、26 年は全袋検査を経て出荷を目指す。
	5 月 19 日	<u>富岡川に稚アユ放流</u> ※富岡川漁協が、居住制限区域を流れる富岡川にアユの稚魚約 1 万 2 千匹を放流。
	7 月 31 日	<u>ふたば商工株式会社設立記念式典</u> ※富岡町商工会員有志が中心となり、物販事業、被災地の視察研修事業等を展開する「ふたば商工株式会社」の設立記念式典が開催。
	8 月 1 日	<u>防犯カメラ運用開始式</u> ※福島復興局の支援制度を活用し、犯罪の抑止効果を高めるため町内 44 箇所に防犯カメラを設置し運用を開始。
	8 月 7 日	<u>富岡町「子ども友情の集い」</u> ※全国各地に避難する小学 1 年から高校 3 年までの児童・生徒約 350 人と保護者等約 750 人が参加し、古里への想いを再確認し交流を深めた。
	8 月 9 日、 10 日	<u>富岡町災害復興計画（第二次）策定委員会発足</u>
	9 月 4 日、 11 日	<u>敬老会の開催</u> ※震災前に毎年開催していた敬老会を福島復興局の支援制度を活用し昨年に引き続き開催。70 歳以上の高齢者約 2,500 名の内、昨年を上回る 550 名が参加しふるさとへの想いを高めた
	9 月 15 日	<u>国道 6 号、県道 36 号通行自由化</u> ※浪江、富岡において入域制限があった国道 6 号、県道 36 号が午前 0 時をもって車両通行自由化
	10 月 1 日	<u>町南部地区の一部で給水再開</u> ※上郡山（清水地区を除く）、下郡山、赤木の各地区で水道の使用が再開
	10 月 14 日	<u>富岡産の米が出荷へ</u> ※富岡町内下郡山地区における実証栽培で収穫された米約 7 トンを全袋検査、全て基準値以下であることが確認され、約 5 トンを出荷へ。残り約 2 トンは試食会等で使用。

年月日		概要
平成 26 年	10月17日	<u>住民意向調査速報版の公表</u>
	11月7日	<u>復興公営住宅の鍵引き渡し式</u> ※原災避難者（富岡町民）向けの県営復興住宅第一号となる「郡山日和田団地」の鍵が入居者へ引き渡され、11月15日から入居が開始。 <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。（初の県営復興公営住宅 鍵引き渡し式）
	11月28日～ 30日	<u>学用品等持出し支援</u> ※昨年に引き続き福島復興局の支援制度を活用し、避難指示区域にある幼稚園・小中学校に置きっぱなしになっている「思い入れのある私物」を持ち帰り、ふるさとへの想いを再確認した。
	12月22日	<u>役場いわき支所の移転</u> ※いわき市内に点在していた「役場いわき支所」「町社会福祉協議会いわき事業所」「いわき平交流サロン」を一つの敷地内に集約することにより避難町民の利便性を向上。 <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。（富岡町いわき支所移転、開所式）
平成 27 年	1月20日	<u>県外避難者の拠点の設置</u> ※町はさいたま市浦和区に県外避難者支援拠点事務所を開設し、町民から募集した支援員4人を配置。戸別訪問やイベント企画などにより県外避難者の支援を強化。
	1月21日	<u>シャープ富岡太陽光発電所安全祈願祭</u> ※町が福島復興局の支援制度を活用して法面等の修復を行ってきた富岡工業団地において、シャープ(株)等が設立した合同会社が行う太陽光発電事業の工事の安全祈願祭が開催。本年6月に完成の見込みで、旧警戒区域内における初の再生可能エネルギーによる発電事業として、売電益の一部については町へ還元し復興に関する施策や支援に役立てられる。 <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。（シャープ富岡太陽光発電所安全祈願祭）

年月日		概要
平成 27 年	1月27日	<u>福島県復興公営住宅の鍵引渡し式</u> ※いわき市における初の原災避難者向け県営復興住宅となる「下神白団地」のうち富岡町民向けとなる2棟が完成し鍵が入居者へ引き渡された。2月1日から74戸、128人が入居を開始。
	1月30日	<u>20メガワットの太陽光発電計画</u> ※県と共同で町は民間からの投資を呼びかけ新会社を設立し、町内の居住制限区域約40haにパネル約10万枚を設置、出力約20メガワットの大規模太陽光発電所を建設し、29年度以降に売電を開始する計画を表明。
	2月2日	<u>夜の森桜並木（帰還困難区域）の除染開始</u>
	3月19日	<u>富岡町仮設焼却施設（減容化施設）の火入れ式</u> ※4月から本格稼働
	4月11日	<u>富岡町「復興への集い2015」の開催</u> ※福島復興局の支援制度を活用し、広野町中央体育館で住民交流イベントを実施、約560名が参加し帰還意欲の維持向上に役立った。
	7月9日	<u>災害復興計画（第二次）の公表</u> ※町民の想いに寄り添った生活再建と古里「とみおか」の再生・復興を加速するための羅針盤として策定。
	7月25日	<u>富岡町合併60周年記念式典の開催</u>
	7月28日	<u>富岡町「子ども友情の集い」</u> ※全国各地に避難する小学1年から高校3年までの児童・生徒約166人と保護者等約141人が参加し、古里への想いを再確認し交流を深めた。
	8月28日	<u>国際共同研究施設の設置</u> ※イノベーションコースト構想に基づき、廃炉研究の中核施設として、世界の研究者が集まり研究を実施する国際共同研究施設を富岡町に設置することが決定。
	9月1日	<u>第一回除染検証委員会</u> ※環境省事業として実施された除染事業を、情報収集や精査をし、放射線量の低減がされているかなど、有識者による検証・分析を行う。

年月日		概要
平成 27 年	9月14日	富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン～復興拠点整備計画～を作成 ※災害復興計画（第二次）を具現化させ、町の再生と将来の発展に向けた魅力あるまちづくりを進めるため作成。
	10月1日	富岡町の役場機能の一部が町内の保健センターで再開。
	10月1日	双葉警察署本庁舎での一部業務再開
	10月5日	富岡町交流サロン（一時立寄り所）開所
	10月30日	<u>保健・福祉アクションプラン</u> 第1回アクションプラン検討委員会を開催。年度内にアクションプラン策定。
	11月1日	双葉広域消防が臨時拠点を町内に開所
	11月1日	<u>第1回帰町検討委員会</u> 年度内の帰町計画策定を目指す。
	12月4日	<u>既存管理型処分場を活用した特定廃棄物の埋立容認</u> 既存管理型処分場（エコテック）を活用した特定廃棄物の埋立処分事業について福島県、楡葉町とともに容認。
平成 28 年	1月22日	<u>複合商業施設への出店</u> ヨークベニマル、ダイユーエイト、食堂4店舗の出店を公表
	3月10日	<u>富岡町帰町計画を策定</u> 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けた町の地方創生総合戦略として、帰還を進める上での要件や施策を定める。
	3月17日	<u>特例宿泊実施</u> お彼岸（3月17日～3月23日）、お花見（4月6日～）、GW（4月29日～）
	3月31日	<u>コンビニ再開</u> セブンイレブン福島富岡上郡山店がオープン。富岡町へ震災後のコンビニ初出店

年月日	概要
今後の予定	➤ 4月9日、富岡町復興への集い 2016 開催

○ いわき市

年月日		概要
平成 25 年	1月8日	<u>いわき市江名のボートショップが「海の駅」に認定</u> ※震災後、東北で初認定
	2月1日	<u>株式会社クレハ及び山菱水産株式会社を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>
	2月8日	<u>URと復興まちづくり推進に向け協力協定書を締結</u>
	3月23日	<u>屋内遊び場「いわきっず るんるん」オープン</u> ※市内3ヵ所目
	3月27日	<u>末続・金ヶ沢地区の防災集団移転先地で合同起工式</u>
	6月10日	<u>錦町須賀地区の防災集団移転先団地引渡し開始</u> ※18区画（21世帯）
	7月5日	<u>ふくしま産業復興投資促進特区に農林水産業分野追加</u>
	7月15日	<u>四倉・勿来海水浴場で海開き（7/15～8/18）</u> ※四倉海水浴場は震災後初の再開（勿来は昨年～） ※県内外からの海水浴客：四倉 13,395人、勿来 21,938人
	7月16日	<u>いわき蟹洗温泉の営業再開（2年4ヶ月ぶり）</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（いわき蟹洗温泉再開）</u>
	7月22日	<u>プロ野球オールスターゲーム第3戦がいわき市で開催</u> ※併せて福島復興祭『食のオールスター』を開催。 ※県内外の自治体に参加（7/21, 22）
	10月17日	<u>とまとランドいわきが農林水産祭天皇杯を受賞</u>
	10月18日	<u>タコ等8種類を対象とした試験操業を開始</u> ※12/20までに15種類を対象として6回（計13t）実施
	10月22日～ 12月24日	<u>いわき市の被災者向け災害公営住宅入居者の募集開始</u> ※復興交付金を活用し1512戸建設
	10月26日	<u>第7回太平洋・島サミットのH27いわき市開催が決定</u>
	10月31日	<u>夏井地区に震災かれきを使用した海岸堤防が完成</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（海岸堤防 第一号完成（夏井海岸））</u>

年月日		概要
平成 25 年	11月5日	<u>いわき大王製紙株式会社及び株式会社ドームを対象とした復興推進計画の認定</u>
	11月11日	<u>浮体式洋上ウインドファームの運転開始式</u>
	11月24日	岩間・小浜地区で復興土地区画整理事業の合同安全祈願祭・起工式 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(小名浜地区復興公営住宅の安全祈願祭開催)
	12月	復興土地区画整理事業の合同祈願祭・起工式 ※久ノ浜地区(12/11)、豊間・薄磯地区(12/15)、小名浜港背後地(12/18) ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(豊間・薄磯地区復興土地区画整理事業合同安全祈願祭・起工式) ここをクリックして下さい。(小名浜港背後地 震災復興土地区画整理事業安全祈願祭・起工式)
平成 26 年	2月22日	震災により被害を受けた塩屋埼灯台の一般公開が再開
	3月	<u>いわき沿岸で試験操業（海岸線から10 km 以内、魚種：シラウオ・コウナゴ）</u>
	3月1日	<u>関船団地（市整備災害公営住宅）の入居開始</u>
	3月15日	<u>農林水産物の風評払拭をめざし、いわき市見せる課バスツアーの開催</u>
	4月1日	錦団地・沼ノ内団地（市整備災害公営住宅）の入居開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(災害公営住宅の供用開始)
	4月27日	<u>小名浜背後地再開発でいわき市とイオンモールが開発基本計画を締結</u>
	4月26日	<u>四倉地区に被災児童復興支援施設「ふくまる」が開所</u>
	4月26日	<u>JRいわき駅ビル内に県産農産物を使用した6次化カフェ「ベジカフェ」が開店</u>
	5月	<u>いわき沿岸でエゾアワビの試験操業が開始（小浜など全11浜、9月下旬まで）</u>
	5月8日	<u>いわき沖の試験操業で水揚げされたヤナギガレイ、メヒカリ等が原発事故後初めて築地市場に出荷</u>

年月日		概要
平成 26 年	5月12日	いわき市の被災者向け災害公営住宅入居者の二次募集開始（～6月13日まで）※320戸
	5月15日	ケネディ米大使が浮体式洋上ウインドファーム及び被災児童復興支援施設「ふくまる」を視察
	5月19日	小名浜漁港に民間漁船による初の冷凍マグロが水揚げ
	5月28日	カタールフレンド基金による体験型教育施設「スチューデント・シティ／ファイナンス・パーク」が運用開始
	6月1日	豊間・薄磯団地（市整備災害公営住宅）の一部で入居開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（早期入居を目指して—いわき市災害公営住宅）
	6月5日	いわき沿岸でヒラツメガニの試験操業が開始
	6月19日	いわき沿岸でホッキガイの試験操業が開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（漁業再開の足掛かり—試験操業続く）
	7月1日	四倉団地（市整備災害公営住宅）の一部で入居開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（早期入居を目指して—いわき市災害公営住宅）
	7月14日	いわき市営「芝山牧野」において牛の放牧を再開
	7月20日	四倉・勿来海水浴場で海開き（7/20～8/17） ※県内外からの海水浴客：四倉 10,340 人、勿来 16,089 人
	7月26日	平成 26 年度「第 1 回いわきの漁業の現状を学ぶバスツアー」（いわき市漁業協同組合）の開催
	8月1日	作町団地（市整備災害公営住宅）で入居開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（災害公営住宅（作町東団地）予定より2カ月早く完成・入居）
	8月2日	優良建築物等整備事業による分譲マンション（いわき市被災者優先分譲・全戸 122 戸）の販売開始 ※共用部分に復興交付金活用
	8月21日	いわき市の被災者向け災害公営住宅入居者の三次募集開始（～8月29日まで）※52戸

年月日		概要
平成 26 年	8月26日	<u>いわき沿岸でシラスの試験操業が開始</u>
	9月9日	津波で被災したいわき市沿岸部の農地振興に向けた復興基盤総合整備事業が対象3地区「夏井地区」「下仁井田地区」「錦・関田地区」で着工 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(いわき市沿岸部、津波被災農地再生へ動き出す)
	9月10日	<u>いわき沖の底引き網漁試験操業が2ヵ月ぶりに再開</u>
	10月1日	<u>四倉・薄磯・豊間団地（市整備災害公営住宅）完成・入居開始</u>
	10月2日	<u>いわき沿岸でシロザケの試験操業が開始</u>
	10月17日	福島県水産試験場の漁業調査指導船「新しいわき丸」が就航 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(福島県漁業調査船「いわき丸」就航式)
	10月28日	<u>政府の復興推進委員会が小名浜魚市場を視察</u>
	11月9日	<u>小名浜機船底曳網漁協がいわき市水産業復興プログラム「いわき魚まつり」を開催</u>
	11月18日	<u>磐城高箸が東北復興ビジネスコンテスト大賞を受賞</u>
	同 日	<u>福島県漁連が試験操業で水揚げした魚介類を使用した魚料理講習会を開催</u>
	12月6日	<u>いわき市漁協が平成26年度「第二回親子漁業体験バスツアー」を開催</u>
平成 27 年	12月17日	<u>金ヶ沢・末続地区の防災集団移転事業で移転先の造成工事が完了</u>
	1月1日	<u>勿来四沢団地（市整備災害公営住宅）で入居開始</u>
	1月9日	<u>勿来関田団地（市整備災害公営住宅）で入居開始</u>
	1月14日	<u>いわき沿岸で今年最初の試験操業実施。対象魚種に加わったサヨリを初水揚げ</u>
	1月15日	豊間地区で仮設店舗「とよマルシェ」がグランドオープン ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(復興仮設商店街「とよマルシェ」、グランドオープン)

年月日		概要
平成 27 年	1月23日	小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業の一部である福島臨海鉄道（株）新貨物ターミナルが完成 ここをクリックして下さい。(福島臨海鉄道の機能移転工事が完了)
	1月31日	小名浜港・東港地区耐震強化岸壁工事が着工
	同日	いわき市漁協が「いわきの漁業の現状を学ぶバスツアー」を開催
	2月1日	いわき市内で初となる長期避難者向け復興公営住宅の下神白団地(1、2号棟)で入居開始 ここをクリックして下さい。(原子力災害による避難者向け住宅「下神白団地」1・2号棟へ入居開始)
	2月3日	防災集団移転促進事業で移転先での住宅団地の整備が全4地区（錦町須賀、久ノ浜町末続、久ノ浜町金ヶ沢、江名走出）で完了
	2月23日	市整備災害公営住宅久之浜団地の集合住宅で入居開始
	3月2日	非破壊式検査装置による自家消費用作物等の放射能検査の開始（14ヵ所、14台）※福島再生加速化交付金の交付
	3月7日	復興さくらの会が豊間・薄磯・沼ノ内地区の災害公営住宅で桜を植樹
	3月20日	災害公営住宅等公共施設屋根等貸し事業で太陽光発電事業者が売電を開始 ここをクリックして下さい。(公共施設の屋根で太陽光発電)
	3月26日	小名浜漁港に復興に向けた水産物の拠点となる小名浜魚市場が完成し、開場※復興交付金の交付 ここをクリックして下さい。(消費者目線で安全・安心を確保-小名浜漁港に新魚市場が完成)
	3月27日	震災復興土地区画整理事業では初となる高台の移転先宅地が完成（岩間地区震災復興土地区画整理事業「小原工区」全26区画） ここをクリックして下さい。(震災復興土地区画整理事業で初となる移転先宅地が完成)
	4月1日	長期避難者向け復興公営住宅の湯長谷・下神白団地（3～6号棟）で入居開始

年月日		概要
平成 27 年	同 日	<u>日本原子力研究開発機構（JAEA）福島研究開発部門のいわき事務所が開所</u>
	5 月 1 日	<u>キタムラサキウニなど 6 種類が試験操業対象魚種に加わり 64 魚種まで対象拡大</u>
	5 月 22 日、23 日	<u>福島県で初めての国際首脳会議となるいわき太平洋・島サミット（第 7 回太平洋・島サミット）が開催</u>
	6 月 2 日	<u>いわき市といわきコミュニティ放送（FMいわき）が「災害時における放送要請及び緊急放送等に関する協定書」を締結</u>
	6 月 4 日	<u>復興道路としてはいわき市初となる関田江栗線が完成</u> ※復興交付金の交付 <u>ここをクリックして下さい。(いわき市初の津波避難路完成)</u>
	6 月 22 日	<u>小名浜港で行われていた世界最大規模の浮体式洋上風力発電設備の組立作業が完了、安全祈願祭・披露会の開催</u> <u>ここをクリックして下さい。(世界最大規模の浮体式洋上風力発電施設の組立完了)</u>
	7 月 18 日	<u>四倉・勿来海水浴場で海開き(7/18～8/18)</u> ※震災後最多の海水浴客：四倉 26,429 人、勿来 31,805 人
	7 月 25 日	<u>いわき市平にコンサートや演劇を通じて被災地を支援する小劇場「チームスマイル・いわきPIT」が完成</u>
	7 月 25 日	<u>地元消費の拡大、地域経済の活性化に資することを目的としたいわき市プレミアム付商品券が発売</u>
	7 月 30 日	<u>いわき市平薄磯地区でキタムラサキウニの試験操業が開始、同日午後には名物「ウニの貝焼き」に加工</u>
	7 月 31 日	<u>いわき市中央卸市場において名物「ウニの貝焼き」が最高 5750 円で取引</u>

年月日		概要
平成 27 年	8月1日	<u>長期避難者向け復興公営住宅の平八幡団地で入居開始</u>
	8月8日	<u>ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動推進本部が「いわきの夏を満喫！親子で行く安全・安心実感ツアー」を開催</u>
	8月18日	<u>福島県が小名浜魚市場で県産農林水産物の魅力や安全性をPRする「子育て世代向け安全安心セミナー」を開催</u>
	同 日	<u>いわき市と福島県LPガス協会いわき支部が「災害時におけるLPガス等の供給に関する協定書」を締結</u>
	8月22日	<u>いわき市漁協が市民学習会「いわきの漁業の現状を学ぶバスツアー」を開催</u>
	9月1日	<u>底引き網漁の試験操業海域が福島県沖の水深120メートルより深い海域から水深90メートルより深い海域に拡大され、これまで操業ができなかった10トン未満の小型船が参加可能</u>
	同 日	<u>佐糠第一、第二団地（市整備災害公営住宅）で入居開始</u>
	同 日	<u>中間貯蔵施設へのパイロット（試験）輸送が開始</u>
	9月1日	<u>いわき市が地産地消キャンペーン「召しませ！いわき至福の一皿」を開催（平成28年1月31日まで）</u>
	9月2日	<u>いわき市内郷支所内に放射線医学総合研究所の「放医研福島復興支援本部いわき出張所」が開所</u>
	9月24日	<u>いわき市と新潟市が「災害時相互応援協定」を締結</u>
	9月26日	<u>いわき市主催「第一回見せる課バスツアー～今日からあなたもいわき野菜アンバサダー～」が開催</u>

年月日		概要
平成 27 年	9 月 29 日	<u>復興庁が自治体を支援する「自治体版ハズオン支援事業」の第二次の支援対象にいわき市「文化創造都市いわきを目指した地域人材育成プロジェクト」を選出</u>
	10 月 1 日	<u>市整備災害公営住宅久之浜団地の戸建住宅で入居開始</u>
	10 月 2 日	<u>復興と風評払拭を目的とした水産業の地域ブランド「常磐もの」によるプロモーション事業が開始</u>
	10 月 10 日	<u>市整備災害公営住宅内郷砂子田団地の集合住宅（西棟）で入居開始</u>
	10 月 13 日	<u>市整備災害公営住宅小名浜団地で入居開始</u>
	10 月 17 日	<u>平成 27 年度「第 1 回親子漁業体験バスツアー」（いわき市漁業協同組合）の開催</u>
	10 月 28 日	<u>アコウダイなど 4 種類が試験操業対象魚種に加わり 68 魚種まで対象拡大</u>
	11 月 1 日	<u>市整備災害公営住宅平北白土団地で入居開始</u>
	11 月 8 日	<u>首都圏で活躍するプロの料理人がいわき産農林水産物の安全性への取り組みを見るいわき市主催「第二回見せる課バスツアー」が開催</u>
	11 月 27 日	<u>平成 27 年度いわき市観光プロモーション「意外と近くて、ぜんぶある！オール・イン・ワンいわき」が開始</u>
	11 月 30 日	<u>市整備災害公営住宅常磐湯本団地の戸建住宅で入居開始</u>
	12 月 1 日	<u>いわき市が地産地消キャンペーン「召しませ！いわき常磐もの編（水産物）」を開催（平成 28 年 2 月 11 日まで）</u>
	12 月 5 日	<u>東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故による避難者といわき市民がスポーツを通じて絆を強める「いわき大交流フェスタ」の開催</u>

年月日		概要
平成 27 年	12 月 12 日	<u>いわき市久之浜・大久地区の住民 59 人の手記をまとめた「東日本大震災久之浜・大久証言集」が完成</u>
	12 月 21 日	<u>コモンフグなど 4 種類が試験操業対象魚種に加わり 72 魚種まで対象拡大</u>
	12 月 25 日	<u>市整備災害公営住宅常勿来四沢団地の戸建住宅で入居開始</u>
平成 28 年	1 月 1 日	<u>市整備災害公営住宅常磐湯本団地の集合住宅で入居開始</u>
	1 月 8 日	<u>長期避難者向け復興公営住宅の常磐関船団地で入居開始</u>
	2 月 6 日	<u>いわき市漁協主催「市民学習 いわきの漁業の現状を学ぶ」が開催</u>
	2 月 6 日	<u>復興庁が東日本大震災の津波被害を受けたいわき市久之浜・大久地区のまちなか再生計画を県内で初めて認定</u>
	2 月 18 日	<u>いわき市立総合磐城共立病院新病院建設工事が開始</u>
	同 日	<u>いわき市四倉地区に「五感を耕す。農と食の体験ファーム」をコンセプトとした農業と食の体験型複合施設ワンダーファームが完成</u>
	2 月 20 日	<u>いわき市主催「第三回見せる課バスツアー～見せます！冬のいわき」が開催</u>
	3 月 1 日	<u>長期避難者向け復興公営住宅の家ノ前団地第一住区（戸建住宅）で入居開始</u>

年月日		概要
平成 28 年	同 日	<u>福島県が農産物復興プロジェクト「ふくしま 新発売。」のモニターツアーをいわき市で開催</u>
	3 月 13 日	<u>支所及び公民館の機能を一体化・集約化した津波避難ビル「いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館」が完成し、供用開始※復興交付金の交付</u>
	3 月 24 日	<u>久之浜地区震災復興土地区画整理事業で、県内初となる被災市街地の宅地引き渡しを開始</u>
	3 月 26 日	<u>市整備災害公営住宅内郷砂子田団地の集合住宅（東棟）で入居開始。これにより市整備災害公営住宅全 1513 戸全て整備完了</u>
	3 月 27 日	<u>子どもに健全な遊びや学習の場を提供等する「いわき市ことも元気センター」が完成し、供用開始※子ども元気復活交付金の交付</u>
今後の予定		➤ 長期避難者向け復興公営住宅の家ノ前団地第二住区、宮沢団地、大原団地で入居開始（平成 28 年 4 月～612 月） ※ コミュニティ復活交付金を活用した長期避難者向けの復興公営住宅を市内 17 ヲ所に 1768 戸整備 ➤ 市制施行 50 周年を記念する「いわきサンシャイン博」の開催（平成 28 年 度 4 月～平成 29 年 3 月） ➤ 新舞子多目的運動場が完成（平成 28 年 4 月 9 日）※子ども元気復活交付金の交付 ➤ 東京電力福島第一発電所の廃炉に関する国際フォーラムの開催（平成 28 年 4 月 10 日、11 日） ➤ 「第 3 回 U15 野球ワールドカップ」の開催（平成 28 年 7 月 29 日～8 月 7 日） ➤ 中核市サミットの開催（平成 28 年 度 10 月） ➤ 小名浜港背後地の核となる複合商業施設が着工（平成 28 年 夏） ➤ いわき市民と長期避難者が日常的に交流し、相互理解を深めるための施設としてコミュニティ交流広場が完成（平成 28 年 度） ➤ 小名浜港東港地区国際ターミナル整備事業で の人工島型となる国際ターミナルと陸地を結ぶ橋の供用開

年月日	概要
今後の予定	始（平成 29 年度） ➤ 小名浜港と常磐自動車道（仮）いわき小名浜インターチェンジを結ぶ小名浜道路の供用開始（平成 33 年度）

○ 新地町

年月日		概要
平成 25 年	1月23日	<u>木崎地区の海岸復旧工事着工</u>
	1月	<u>相馬市・新地町仮設焼却施設（減容化施設）稼働開始</u> ※国による代行処理
	5月14日	<u>作田前地区の農用地区画整理事業着工</u>
	8月2日	<u>石油資源開発株式会社を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>
	8月20日	<u>富倉地区の民間住宅用地の造成完了（町内第一号）</u> ※復興交付金の防災集団移転促進事業
	8月30日	<u>雁小屋西地区の民間住宅用地の造成完了</u> ※復興交付金の防災集団移転促進事業
	10月11日	<u>釣師浜漁港に震災後初めての水揚げ（シラス約3.7t）</u>
	10月31日	<u>岡地区の民間住宅用地の造成完了</u> ※復興交付金の防災集団移転促進事業
	11月6日	<u>被災高齢者共同住宅が完成（台湾赤十字社支援事業）</u>
	11月27日	<u>相馬港に石油資源開発(株)LNG受入基地の建設決定</u>
	12月24日	<u>愛宕東地区災害公営住宅完成（町内第一号）</u> <u>駒ヶ嶺原地区災害公営住宅完成</u> ※2地区とも復興交付金の災害公営住宅整備事業 下水道の復旧工事完了
平成 26 年	1月24日	<u>釣師浜漁港海岸の復旧工事着手</u>
	2月28日	<u>中島地区土地区画整理事業による民間住宅用地造成開始</u> ※復興交付金の都市再生区画整理事業。
	3月10日	<u>渡辺病院開院（南相馬市からの機能移転）</u>
	3月14日	<u>埴浜地区防災緑地事業の着工（福島県）</u> ※復興交付金の都市公園事業
	3月26日	<u>釣師・大戸浜地区防災緑地事業の着工（新地町）</u> ※復興交付金の都市公園事業。
	3月30日	<u>大戸浜地区の民間住宅用地の造成完了</u> ※復興交付金の防災集団移転促進事業
	3月31日	<u>作田東地区の民間住宅用地の造成完成</u> ※復興交付金の防災集団移転促進事業

年月日		概要
平成 26 年	3 月	<u>災害廃棄物の焼却処理終了</u>
	4 月 1 日	<u>高齢者福祉施設「なごみの里 福田」開所</u>
	4 月 20 日	<u>作田西地区、雁小屋地区の民間住宅用地の造成完成</u> ※新地町での復興交付金の防災集団移転促進事業による民間住宅用地の造成が全て終了。(この他に、都市再生区画整理事業による民間住宅用地の造成がある。)
	5 月 7 日	<u>JR 常磐線駒ヶ嶺(新地町)ー浜吉田(亘理町)間の内陸移設工事の着工。</u>
	7 月 29 日	<u>福田町民プールリニューアルオープン</u> ※子ども元気復活交付金
	10 月 9 日	<u>みちのく潮風トレイル開通</u> ※青森県八戸市から相馬市までの海岸線を中心に設定されるトレイルコースのうち、新地町区間が完成し、開通除幕式が実施 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(「みちのく潮風トレイル」相馬・新地区間開通)
	11 月 13 日	<u>相馬 LNG 基地起工式</u>
	12 月 6 日	<u>常磐自動車道(浪江 ICー南相馬 IC 間、相馬 ICー山元 IC 間)開通</u> ※町内に新地 IC を設置
	12 月 19 日	<u>大戸浜地区、岡地区の災害公営住宅完成</u> ※復興交付金
	12 月 24 日	<u>雁小屋地区の災害公営住宅完成</u> ※復興交付金
平成 27 年	2 月	<u>相馬港の岸壁復旧が完了</u>
	3 月	<u>作田西地区、作田東地区の災害公営住宅完成</u> ※復興交付金
	3 月 25 日	<u>大戸浜地区防災コミュニティセンター完成</u>
	4 月 21 日	<u>富倉地区防災コミュニティセンター完成</u>
	5 月 19 日	<u>新地南工業団地に(株)リード、新地南工場が竣工</u>
	9 月 30 日	<u>国道 6 号線歩道整備完了(作田地区)</u>
	10 月 10 日	<u>相馬港大型 L N G 船受入施設整備工事着工</u>

年月日		概要
	10 月 30 日	消防・防災センター工事安全祈願祭 ※復興交付金
平成 28 年	3 月 9 日	町道（大戸浜富倉線）の新陸橋「大富希望の橋」に決定
	3 月 25 日	漁具倉庫（釣師浜漁港）完成 ※復興交付金
	3 月 30 日	有害鳥獣焼却場竣工
今後の予定		➤ 釣師浜漁港の荷捌施設の完成（28 年度） ➤ 交流センター着工（28 年度） ➤ JR 常磐線 相馬駅～浜吉田駅間開通（28 年末）

○ 相馬市

年月日		概要
平成 25 年	1 月 25 日	<u>大浜・古磯部地区の海岸復旧工事着工</u>
	1 月	<u>相馬市・新地町仮設焼却施設（減容化施設）稼働開始</u> ※国による代行処理
	2 月 9 日	<u>相馬福島道路（相馬 IC～相馬西 IC）着工</u>
	3 月 30 日	<u>明神前地区災害公営住宅完成（市内戸建第 1 号）</u> ※復興交付金の災害公営住宅整備事業
	4 月 12 日	<u>原釜地区井戸端長屋完成</u> <u>狐穴地区井戸端長屋完成</u> ※両地区とも復興交付金の災害公営住宅整備事業
	6 月 28 日	<u>原釜漁具倉庫（底曳船用）完成</u> ※復興交付金の水産業共同利用施設復興整備事業
	7 月 6 日～ 14 日	<u>防災集合所完成（岩子、松川、獺庭、新田）</u> ※復興交付金の都市防災総合推進事業
	7 月 13 日	<u>磯部コミュニティセンター落成（シンガポール赤十字社支援事業）</u>
	8 月 25 日	<u>防災備蓄倉庫の完成</u> ※復興交付金の都市防災総合推進事業。
	9 月 17 日	<u>桜丘小学校屋内運動場完成</u>
	9 月 29 日	<u>防災集合所完成（日下石、南飯渕、立切）</u> ※復興交付金の都市防災総合推進事業
	10 月 6 日	<u>防災集合所完成（台畑、中野）</u> ※復興交付金の都市防災総合推進事業
	10 月 7 日	<u>市民センター落成</u>
	10 月 18 日	<u>光陽サッカー場リニューアルオープン</u>
	10 月 28 日	<u>光陽地区メガソーラー竣工</u>
	11 月 16 日	<u>相馬福島道路（阿武隈東～阿武隈）着工</u>
	12 月 12 日	<u>細田地区災害公営住宅一部と井戸端長屋完成</u> ※復興交付金の災害公営住宅整備事業 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(災害公営住宅の竣工式と鍵引渡し式)
	12 月 17 日	<u>お出かけミニバス運行開始（市街地～災害公営住宅）</u>

年月日		概要
平成 25 年	1月8日	移動販売開始（災害公営住宅の高齢者等を対象）
	2月7日	磯部小学校屋内運動場完成 ※復興交付金の公立学校施設整備費国庫負担事業等
	3月14日	防災緑地（原釜・尾浜地区）事業の着工 ※復興交付金の都市公園事業
	3月20日	狐穴地区の民間住宅用造成完了（市内第一号） ※復興交付金の防災集団移転事業
	3月28日	細田東地区の災害公営住宅完成 ※復興交付金の防災集団移転事業
	4月28日	相馬市復興計画の改定
	5月12日	刈敷田地区の民間住宅用造成完了 ※復興交付金の防災集団移転事業
	5月24日	鷲山地区の民間住宅用造成完了 ※復興交付金の防災集団移転事業
	7月17日	原釜漁具倉庫（小型船用）完成 ※復興交付金の水産業共同利用施設復興整備事業
	7月26日	相馬市の歴史資料を収蔵・展示する「相馬市歴史資料収蔵館」と地域の民族資料を保全・展示する「相馬市郷土蔵」がオープン。 ※「相馬市郷土蔵」は、復興交付金により建設。
	8月20日	南ノ入、荒田地区の民間住宅用造成完了 ※復興交付金の防災集団移転促進事業。相馬市での民間住宅用地の造成が全て終了。
	9月15日	相馬市復興交流センター落成式 ※復興交付金 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（相馬市復興交流支援センター落成式挙行政）
	9月26日	市役所新庁舎建設工事安全祈願祭
	10月9日	みちのく潮風トレイル開通 ※青森県八戸市から相馬市までの海岸線を中心に設定されるトレイルコースのうち、相馬市区間が完成し、開通除幕式が実施 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（「みちのく潮風トレイル」相馬・新地区間開通）

年月日		概要
	11 月	<u>災害廃棄物の焼却処理完了</u>
	12 月 6 日	<u>常磐自動車道（浪江 IC－南相馬 IC 間、相馬 IC－山元 IC 間）開通</u>
平成 27 年	1 月	<u>相馬港の岸壁復旧が完了</u>
	2 月 15 日	<u>千客万来館・中央公民館の落成式</u> ※千客万来館は復興交付金により整備
	3 月 3 日	<u>刈敷田地区の災害公営住宅完成</u>
	3 月 7 日	<u>公立相馬総合病院第一病棟落成</u>
	3 月 11 日	<u>伝承鎮魂祈念館落成（4 月 1 日開館）</u>
	3 月 16 日	<u>南ノ入地区の災害公営住宅完成</u>
	3 月 23 日	<u>細田東団地内に集会所竣工</u>
	3 月 26 日	<u>鷲山地区、荒田地区災害公営住宅完成</u>
	4 月 1 日	<u>相馬～南相馬～東京（池袋）高速バス運行開始</u>
	4 月 13 日	<u>相双管内公設土取場（相馬市今田地区）運用開始</u> ※被災 3 県で初の公設土取場
	5 月 19 日	<u>磯部地区メガソーラー起工式</u> ※52.5MW、H29 年 6 月運転開始予定
	7 月 30 日	<u>大野台小水力発電所実証施設完成</u> ※相馬地方広域水道企業団
	8 月 21 日	<u>刈敷田第 2 仮設住宅、1 棟（6 戸）の解体開始</u> ※津波被災者向け仮設住宅の取壊しは県内初
	9 月 14 日	<u>市道山上初野線（延長約 6 km）全線開通</u> ※中核工業団地へのアクセス向上
	9 月 19 日	<u>磯部漁具倉庫、上架施設工事安全祈願祭</u>
	10 月 19 日	<u>4 か所の災害公営住宅団地に集会所完成</u>
	10 月 21 日	<u>相馬市東部子ども公民館落成</u> ※放課後児童クラブ、子育てサロン等を備えた交流拠点
	11 月 2 日	<u>有害鳥獣焼却施設工事安全祈願際</u> ※年間最大 600 頭の処理能力
	12 月 11 日	<u>松川ポンプ場（市公共下水道）完成</u> ※50mm/h の降雨も排水可能
	12 月 17 日	<u>原釜共同集配施設完成内覧会</u>
	12 月 17 日	<u>相馬エネルギーパーク合同会社 石炭・バイオマス発電所起工式</u>

年月日		概要
		※チップと石炭の混焼、発電能力 112 ムガワット
平成 28 年	2 月 18 日	磯部水産加工施設竣工
	3 月	お出かけミニバス（市街地～仮設住宅）廃止
	3 月 1 日	相馬市地見廻り協議会によるパトロール開始
	3 月 30 日	有害鳥獣用焼却場完成
今後の予定		➤ 市民プール完成（平成 28 年度） ※子ども元気復活交付金 こども放射線防御・震災復興国際シンポジウム開催 （28 年 5 月、共催：WHO） 原釜荷捌施設竣工（28 年度） ※復興交付金 市役所新庁舎完成（28 年度） JR 常磐線 相馬駅～浜吉田駅間開通（28 年末）

○ 中通り・会津地域

年月日		概要	
平成25年	2月	<u>三春工業(株)【三春町】、東北ニプロ製薬(株)【鏡石町】、(株)日本アレフ【下郷町】を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>	三春町 鏡石町 下郷町
	4月	<u>「福島定住等緊急支援交付金(子ども元気復活交付金)」新設</u>	-
	6月1日 ～2日	東北六魂祭開催 ※2日間で25万人の観光客 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(東北六魂祭)	福島市
	7月2日	<u>子ども元気復活交付金第1回交付可能額決定</u> ※14市町、国費約28億円(事業費約56億円) ※学校・公園等の遊具の更新、公園施設整備等	-
	7月	<u>皇室に「献上桃」を献上(20年連続の献上)</u>	桑折町
	8月2日	<u>(株)エフコム【福島市】、仙台コカ・コーラボトリング(株)【会津若松市】、和田精齒研(株)【天栄村】を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>	福島市 会津若松市 天栄村
	9月7日	<u>被災した市立第二中学校の新校舎完成</u>	本宮市
	9月20日	<u>被災した国見町役場の新庁舎建設着工</u>	国見町
		<u>木質バイオマス発電施設の事業計画取り下げ発表</u>	塙町
	10月15日	<u>川俣体育館「子どもランニングコース」利用開始</u> ※子ども元気復活交付金を活用	川俣町
	11月1日	<u>子ども元気復活交付金第2回交付可能額決定</u> ※23市町村、国費約34億円(事業費約68億円) ※学校・公園等の遊具の更新、屋内運動施設整備等	-
	11月2日	<u>屋内運動施設「スマイルキッズパーク」供用開始</u> ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(スマイルキッズパークで思いっきり遊ぼう)	本宮市
	11月5日	<u>富士システムズ(株)【白河市】、王子コンテナ(株)【伊達市】、(株)青木商店【本宮市】、アルス(株)【本宮市】、(株)太郎庵【会津坂下町】、八溝マテリアル(株)【棚倉町】、(株)オーゼキ【塙町】を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>	白河市 伊達市 本宮市 会津坂下町 棚倉町 塙町

年月日		概要	
平成 25 年	11 月 16 日	東北中央自動車道（阿武隈東～阿武隈）着工（伊達市（～相馬市））	-
	11 月 25 日	藤沼湖（農業用ため池）復旧工事着工	須賀川市
	11 月	公立小野町地方総合病院の移転新築の着工	小野町
	12 月 2 日	3 年ぶり「あんぽ柿」出荷 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(3 年ぶりの「あんぽ柿」出荷)	伊達市 桑折町 国見町
	12 月 5 日	U F O の里広場の更新遊具の供用開始 ※子ども元気復活交付金を活用	福島市
	12 月 26 日	十六沼公園の休憩施設等の供用開始 ※子ども元気復活交付金を活用	福島市
平成 26 年	1 月 14 日	ハンサムウーマン八重と会津博大河ドラマ館閉館 ※NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映にあわせて 25 年 1 月にオープン、年間 61 万人超が来館。 (平成 25 年に会津若松市を訪れた観光客は 395 万人となり、過去最多を記録)	会津若松市
	1 月 18 日～ 3 月 23 日	県文化財センター白河館で特別企画展開催 ※震災・原発事故の前まで双葉・大熊・富岡三町で 保管されていた文化財等の展示	白河市
	1 月 21 日	子ども元気復活交付金第 3 回交付可能額決定 ※8 市町村 国費約 7 億円（事業費約 14 億円） ※屋内運動施設整備、子育て定住支援賃貸住宅等	-
	1 月 25 日	「会津若松 Akisai やさい工場」オープン ※富士通グループ会社が低カリウム野菜を生産する 大規模植物工場を整備（半導体工場を転用） ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(富士通の会津若松 Akisai や さい工場オープン)	会津若松市
	1 月 31 日	住友ゴム工業(株)【白河市】、大内新興化学工業 (株)【須賀川市】、(株)会津工場【只見町】、 (株)TBK【玉川村】、東京精工(株)【玉川村】を対 象とした利子補給に係る復興推進計画の認定	白河市 須賀川市 只見町 玉川村
	2 月 10 日	被災した町立第一小学校の新校舎完成	鏡石町
	3 月 11 日	本宮市復興の集い 2014「復興式典」開催	本宮市
	3 月 25 日	復興公営住宅整備工事安全祈願祭	桑折町

年月日	概要	
3月28日	須賀川市制施行60周年記念式典開催	須賀川市
4月1日	福島再生可能エネルギー研究所開設	郡山市
4月2日 ～4日	「ふくしまっ子10万人の笑顔プロジェクト」公開 ※根本復興大臣出席、安倍総理夫人来場 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(ふくしまっ子の笑顔の力を世界中に向けて!)	福島市
4月4日	子ども元気復活交付金第4回交付可能額決定 ※8市町村 国費約14億円（事業費約27億円） ※屋内運動施設整備、子育て定住支援賃貸住宅等	-
4月29日	東京ガールズコレクション開催 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(東京ガールズコレクション in 福島)	郡山市
4月30日	国見小学校屋外運動場遊具完成披露式 ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(国見小学校屋外運動場遊具完成披露式)	国見町
	土湯温泉で小水力発電事業起工式開催 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(土湯温泉で小水力発電事業起工式開催)	福島市
5月7日	「会津若松 Akisai やさい工場」(富士通グループ)の低カリウムレタスの出荷開始 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(低カリウム野菜の出荷へ)	会津若松市
5月15日	福島駅周辺活性化計画検討協議会発足	福島市
5月17日	福島復興シンポジウム開催	郡山市
5月25日	伊達ジュニアウィンドオーケストラ・東京藝大ウィンドオーケストラ第3回合同演奏会の開催 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(伊達ジュニアウィンドオーケストラ・東京藝大ウィンドオーケストラ第3回合同演奏会)	伊達市
6月1日	国見ルネサンス2014の開催 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。(国見ルネサンス2014)	国見町

平成
26
年

年月日	概要	
6月12日	木質バイオマスボイラー火入れ式及び内覧会	南会津町
6月13日	会津大学復興支援センター「先端ICTラボ」安全祈願祭・起工式	会津若松市
6月16日	屋内プール複合施設建設工事安全祈願祭 ※子ども元気復活交付金を活用	桑折町
6月21日	町営多目的広場のグラウンドが利用開始（人工芝にリニューアル） ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（おもいっきり遊ぼう、公園やグラウンド）	鏡石町
6月27日	医療法人社団三成会【須賀川市】、（株）釜屋【須賀川市】、（株）福島芝浦電子【本宮市】を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定	須賀川市 本宮市
6月28日	観月台公園遊具完成披露式 ※子ども元気復活交付金を活用	国見町
7月3日	ふれあいの森公園リニューアルオープン（アスレチック遊具等更新）セレモニー ※子ども元気復活交付金を活用	鏡石町
7月7日	翠ヶ丘公園内わんぱく広場リニューアルオープン（コンビネーション遊具設置）セレモニー ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（おもいっきり遊ぼう、公園やグラウンド）	須賀川市
7月11日	子ども元気復活交付金第5回交付可能額決定 ※13市町村 国費約16億円（事業費約32億円） ※学校・保育所・公園等の遊具の更新、運動施設の整備、プレイリーダーの養成等	-
8月8日	白河関の森公園大型遊具オープニングセレモニー ※子ども元気復活交付金を活用	白河市
8月18日	鶴子山公園大型遊具オープニングセレモニー ※子ども元気復活交付金を活用	白河市
8月28日	新庁舎建設工事着工（平成28年3月完成予定） ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（須賀川市の新庁舎建設工事着工）	須賀川市

年月日		概要	
平成 26 年		<u>土湯温泉バイナリー発電事業安全祈願祭・起工式</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（土湯温泉でバイナリー発電事業安全祈願祭・起工式開催）	福島市
	10月10日	第2回福島駅周辺活性化協議会	福島市
	10月18日、 19日	<u>B-1 グランプリ in 郡山</u> ※2日間で約45万人の来場者 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（B-1 グランプリ in 郡山～東北・福島応援特別大会～）	郡山市
	10月18日	<u>伊達市商工会青年部主催「芋煮の陣」開催</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（奥州統一「芋煮の陣」in 福島）	伊達市
	10月31日	<u>子ども元気復活交付金第6回交付可能額決定</u> ※13市町村 国費約10億円（事業費約21億円） ※学校・保育所・公園等の遊具の更新、運動施設の整備、プレイリーダーの養成等	-
		<u>日立オートモティブシステムズハイキャスト(株)【棚倉町】を対象とした利子補給に係る復興推進計画の認定</u>	棚倉町
	11月4日	<u>郡山市制施行90周年・合併50周年記念式典</u>	郡山市
	12月5日	<u>安達ヶ原公園屋内遊び場リニューアルセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（「げんきキッズパークにほんまつ」のリニューアルオープン）	二本松市
		<u>福島県北地方の特産物「あんぽ柿」2年目の出荷</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（平成26年産あんぽ柿出発式）	伊達市
	12月25日	<u>第3回福島駅周辺活性化協議会</u>	福島市

年月日		概要	
平成 26 年	12月25日	<u>本宮市スマイルキッズパーク屋外遊び場オープン セレモニー</u> <u>天栄村屋内運動施設オープンセレモニー</u> <u>須賀川市いわせ多目的グラウンドオープンセレモ ニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用 <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。(中通り地域に屋内運動施設 等続々完成)	本宮市 天栄村 須賀川市
	1月6日	<u>18歳未満の子どもの県外避難者数が県内避難者数 を初めて下回ったと福島県が公表(半年毎の集計)</u> 県外避難者 H24.10.1 16,970人 → H26.10.1 12,436人 県内避難者 H24.10.1 13,998人 → H26.10.1 12,437人	-
平成 27 年	1月15日	<u>二見屋工業【須賀川市】、アブクマ【小野町】、 TBK及び東京精工【玉川村】、ダイテック【中島 村】、岡本工業【塙町】を対象とした利子補給に 係る復興推進計画の認定</u>	須賀川市 小野町 玉川村 中島村 塙町
	1月22日	<u>会津若松市の「アナリティクス産業の集積による 地域活力再生計画」が「地域再生計画」に認定</u>	会津若松市
	1月26日	<u>第4回福島駅周辺活性化協議会</u>	福島市
	2月14日	<u>公立小野町地方総合病院の新病院落成記念式典</u>	小野町
	2月26日	<u>第5回福島駅周辺活性化協議会</u>	福島市
	3月19日	<u>須賀川市災害公営住宅鍵引渡し式</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。(須賀川市初の災害公営住宅鍵 引渡し式)	須賀川市
	3月20日	<u>福島市子育て支援賃貸住宅(20戸)完成・引渡し</u> ※子ども元気復活交付金を活用	福島市
	3月24日	<u>スマイルパークほばら開場式</u> ※子ども元気復活交付金を活用	伊達市
	3月27日	<u>矢吹町屋内外運動施設(愛称「未来くる矢吹」) オープンセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	矢吹町
	4月4日	<u>中央公民館・勤労青少年ホーム再オープン</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> ここをクリックして下さい。(郡山市立中央公民館・勤労青 少年ホームリニューアルオープン！)	郡山市

年月日		概要	
平成 27 年	4月10日	子ども元気復活交付金第7回交付可能額決定 ※10市町村 国費約11億円（事業費約21億円） ※遊具の更新、屋内運動施設整備	-
	4月10日	泉崎村役場新庁舎建設着工	泉崎村
	5月3日	屋内温水プール・多目的スタジオ（愛称「イコーゼ」） オープニングセレモニー ※子ども元気復活交付金を活用	桑折町
	5月9日	国見町役場新庁舎建設竣工	国見町
	5月9日	土湯温泉で小水力発電事業竣工式	福島市
	5月31日	復興公営住宅竣工式	桑折町
	6月3日	屋内市民プール新築工事安全祈願祭 ※子ども元気復活交付金を活用	二本松市
	6月6日	パレオパークやながわ開場式 ※子ども元気復活交付金を活用	伊達市
	6月29日	本宮市子ども屋外プールオープン ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ ここをクリックして下さい。（本宮市子ども屋外プールがオープン！）	本宮市
	6月30日	（株）芳三工業【三春町】、福中エンジニアリング （株）【中島村】を対象とした利子補給に係る復興 推進計画の認定	三春町 中島村
	7月13日	まち・ひと・しごと創生包括連携協議会発足式	会津若松市
	7月14日	子ども元気復活交付金第8回交付可能額決定 ※7市町村 国費約34億円（事業費約68億円） ※遊具の更新、屋内運動施設整備、公園整備	-
	7月31日	被災した市立第一小学校の新校舎完成	須賀川市
	9月6日	会津縦貫北道路全線開通	-
	9月8日	会津大学復興支援センター「先端ICTラボ」完 成式典	会津若松市
今後の予定		➤ 第11回地域復興マッチング「結（ゆい）の場（ば）」（会津若松）開催（平成27年10月1日） ➤ 平成28年3月 須賀川市新庁舎建設工事竣工予定 ➤ 平成28年3月 泉崎村新庁舎建設工事竣工予定	

○ 広域

年月日	概要
平成 25 年	<u>福島復興再生総局の発足</u> ※福島の復興・再生を担う福島復興局、原子力災害現地対策本部、福島環境再生事務所の一体的運用を行うため発足。 福島ふるさと復活プロジェクトの創設 ※福島の復興・再生を加速のため、帰還加速・区域の荒廃抑制の「地域の希望復活応援事業」、長期避難者の生活拠点形成の「コミュニティ復活交付金」、定住促進の「子ども元気復活交付金」を創設
	<u>母子避難者等の高速道路無料化措置の開始</u> ※両親と子どもが離れ離れで暮らす世帯を対象とした高速道路無料化措置について、大型連休に利用できるよう施策を実施。
	<u>福島復興再生特別措置法の一部改正法の公布・施行</u> ※一部改正法により、コミュニティ復活交付金の新設、生活環境整備事業等の対象区域などを拡充。 生活環境整備事業・地域の希望復活応援事業の事務移管 ※生活環境整備事業・地域の希望復活応援事業について、現場主義の徹底の観点から、福島復興局に執行事務を移管
	<u>東北六魂祭の福島での開催</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！ <u>ここをクリックして下さい。(東北六魂祭)</u>
	<u>ふくしま復興祭、プロ野球オールスターの開催</u> <u>県立美術館で若沖特別展が開催</u> <u>福島県と 59 市町村が申請した公営住宅の入居資格要件の特例期間の延長等に係る復興推進計画の認定</u> <u>福島県と 30 市町村が申請した応急仮設建築物の存続期間の延長に係る復興推進計画の認定</u>
	<u>いわき市沖で浮体式洋上風力発電の運転開始</u>
	<u>福島県と 52 市町村が申請したふくしま産業復興投資促進特区について、農林水産業の区域を追加</u>

年月日		概要
平成 26 年	2 月	<u>福島県と 48 市町村が申請したふくしま産業復興投資促進 特区について、製造業等の区域の拡充</u>
	4 月 1 日	<u>福島県警双葉署浪江分庁舎の再開</u> ※原発事故に伴い川俣町に機能に移転していた浪江分庁 舎を、浪江町の元の庁舎に戻し業務を再開した。
	4 月	<u>上水道・工業用水道の復旧作業開始</u> ※双葉地方水道企業団が復興局の支援制度を使って、震 災で損壊した上水道施設の設備復旧作業を開始
	6 月	<u>イノベーションコースト研究会が報告書を取りまとめ</u>
	9 月 28 日	<u>「ふたばワールド 2014」 in 川内村の開催</u> ※双葉地方広域圏組合が福島復興局の支援制度も利用し て、昨年に引き続き川内村で実施。昨年の 2 倍以上とな る 6,500 人もの来場者が訪れ、懐かしい顔との再開に昔 話や近況についての話が弾んでいた。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <u>ここをクリックして下さい。（「ふたばワールド 2014 in 川内村」開 催）</u>
	12 月 23 日	<u>第 1 回福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会議の 開催</u>
平成 27 年	1 月 31 日	<u>JR 常磐線原ノ町（南相馬市）～竜田（楡葉町）駅間で代行 バスの運行開始</u>
	2 月 1 日	<u>第 2 回福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会議の 開催</u>
	3 月 1 日	<u>常磐自動車道 全線開通（浪江 IC～常磐富岡 IC 間）</u>
	4 月 1 日	<u>双葉地方広域市町村圏組合双葉環境センターし尿処理施 設稼働</u> <u>双葉地方広域市町村圏組合、双葉地方町村会の組織改編</u>
	7 月 10 日	<u>双葉地方広域市町村圏組合双葉環境センターし尿処理施 設完成式</u>
	7 月 30 日	<u>福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会提言</u>
	9 月 5 日	<u>双葉警察署楡葉駐在所が業務を再開</u>
	9 月 7 日	<u>双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会を設置</u>
	9 月 16 日	<u>県立大野病院附属ふたば復興診療所（仮称）の安全祈願祭・ 起工式</u>

年月日		概要
平成 27 年	<u>10月10日</u>	「ふたばワールド2015 in ならは」の開催 ※双葉地方広域圏組合が福島復興局の支援制度も利用して、檜葉町で実施。昨年を大幅に上回る8,000人もの来場者が訪れ、懐かしい顔との再開に昔話や近況についての話が弾んでいた。 <u><福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！></u> <u>ここをクリックしてください。(「ふたばワールドinならは」開催)</u>
	<u>10月28日</u>	第1回 福島12市町村将来像提言フォローアップ会議
平成 28 年	<u>1月31日</u>	県立大野病院附属ふたば復興診療所(愛称・ふたばリカーレ)開所式(檜葉町北田) (診療開始は2月1日) <u><福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！></u> <u>ここをクリックしてください。(ふたばリカーレ開所式)</u>
	<u>2月4日</u>	第2回 福島12市町村将来像提言フォローアップ会議